

小松市内遺跡発掘調査報告書 X

矢田借屋古墳群

島 遺 跡

吉竹 C 遺跡

2014. 3

石川県小松市教育委員会

例言

1. 本書は、石川県小松市内において小松市教育委員会が実施した埋蔵文化財発掘調査報告書である。
2. 試掘調査・発掘調査・出土品整理・報告書刊行は、文化庁補助金を受けて実施した。
3. 対象となった埋蔵文化財、並びに調査地・調査原因・調査面積・調査期間・調査担当者は次のとおりである。

【矢田借屋古墳群】(平成22年度)

【調査地】	石川県小松市月津町
【調査原因】	個人農地造成
【調査面積】	1,140m ²
【発掘調査】	2010. 4.26 ~ 2010. 8. 4
【調査担当】	宮田 明

【島遺跡】(平成23年度)

【調査地】	石川県小松市島町
【調査原因】	個人住宅建設
【試掘調査】	2005.11.22
【試掘担当】	岩本信一
【調査面積】	310m ²
【調査期間】	2011. 9. 1 ~ 2011.10. 8
【調査担当】	宮田 明

【吉竹C遺跡】(平成23年度)

【調査地】	石川県小松市吉竹町
【調査原因】	工場建設
【試掘調査】	2011. 7.28
【試掘担当】	岩本信一
【調査面積】	617m ²
【調査期間】	2011.10. 3 ~ 2011.11. 2
【調査担当】	宮田 明

4. 発掘調査は、臨時作業員を雇用して実施した。
5. 出土品整理並びに実測・製図は、臨時作業員を雇用して、平成25年度に実施した。
6. 遺構の実測及び写真撮影は、各発掘調査担当者が行い、遺物の写真撮影は、各執筆担当者が行った。
7. 本書の執筆は各担当者を目次に付記し、編集は宮田が担当した。
8. 発掘調査に係る遺物・図面・写真等の資料は、すべて小松市教育委員会で一括保管している。

凡例

1. 本書に示す座標は平面直角座標 VII 系、高度は標高 (T.P.) で表示し、世界測地系 (測地成果 2000) に準拠している。
2. 本書に示す方位は、特に断りがない限り、座標北である。
3. 本書に示す土色は、マンセル表色系に準拠している。
4. 本文中で「飛鳥時代」は古代の範疇で扱っているが、報告書抄録では、時代名称は原則として『石川県遺跡地図』の区分に準拠し、「古墳時代」としている。
5. 土器の実測図で正中線上に表示したマークは、▼が反転復元、▽が反転復元と調整の描画を示す。
6. 本文中の用語及び年代比定等は次の編年に準拠した。出典は各章末に挙げ、ここでは略記とする。
田嶋 (1988) 古代編年軸の設定、北陸古代土器研
田辺 (1981) 須恵器大成
西 (1986) 土器様式の成立とその背景
望月 (2008) 南加賀地域の平安後期土器群に関する編年考察

目次

I 位置と環境	1
II 矢田借屋古墳群発掘調査	13
III 島遺跡発掘調査	39
IV 吉竹C遺跡発掘調査	45
写真図版 1 ~ 6	
報告書抄録	

第1章 位置と環境

第1節 地理的環境

(1) 市勢と沿革

小松市は石川県南部に位置し、東西約20km、南北約30kmに跨る市域は面積371.13km²を測る。南は大日山(1368m)で福井県勝山市と境し、ここより約5km北に位置する鈴ヶ岳(1174m)を水源とする梯川流域を包括した市域をなしている。市域の大半は山岳地であり、約11万人を数える人口の大部分は北西部の狭長な平野部に集中している。近世城下町として成立し、商業都市として発展した小松町を核として近隣7町村を合併して昭和15年市制施行、その後2次にわたる編入合併を経て現在に至っている。

(2) 加賀三湖と月津台地

小松市の山岳地(加越山地)は新第三紀火砕堆積物よりなるが、この外縁を縁取るように、第四紀高位段丘がなだらかな丘陵を形成している。ここより北にせり出すのが月津台地で、標高は、高所で約20m程度あるが、平均的には5~10m程度で、なだらかな起伏の連続した中位段丘である。大きな開析谷で区切って、北を御幸野台地、南を矢田野台地と呼ぶこともある。かつて、周囲は浜堤列で海と隔てられた潟湖が囲み、泥質の湿地や湿田が広がっていたが、現在は今江潟の全域、柴山潟の約3分の2が干拓され、湿田や湿地も月津台地の採取土で埋め立てて乾田化されている。

梯川は、大杉谷を北流し、郷谷川・滓上川等を合わせて国府台地をえぐりながら西に向きを変え、八丁川・前川等を合わせて、安宅で浜堤を突き破って日本海に注ぐ。図2は明治時代の河道と水域を合成したもののだが、幕末の頃までは、細かく複雑に蛇行していた。

(3) 梯川と梯川デルタ

梯川は掃流力が弱く、自然堤防の発達が悪い平坦な沖積平野を形成した。河道が南に折れる地点が小松城跡で、小松町は埋没したもとも内陸側の浜堤列上に立地している。梯川デルタはこれより下流には形成されず、河道は手取川デルタとの境界に当たる最も低い位置にある。複雑に蛇行する河道はしばしば氾濫したため、明治維新直後から河道の直線化工事が繰り返さ



図1 小松市の位置



図2 小松市の地形

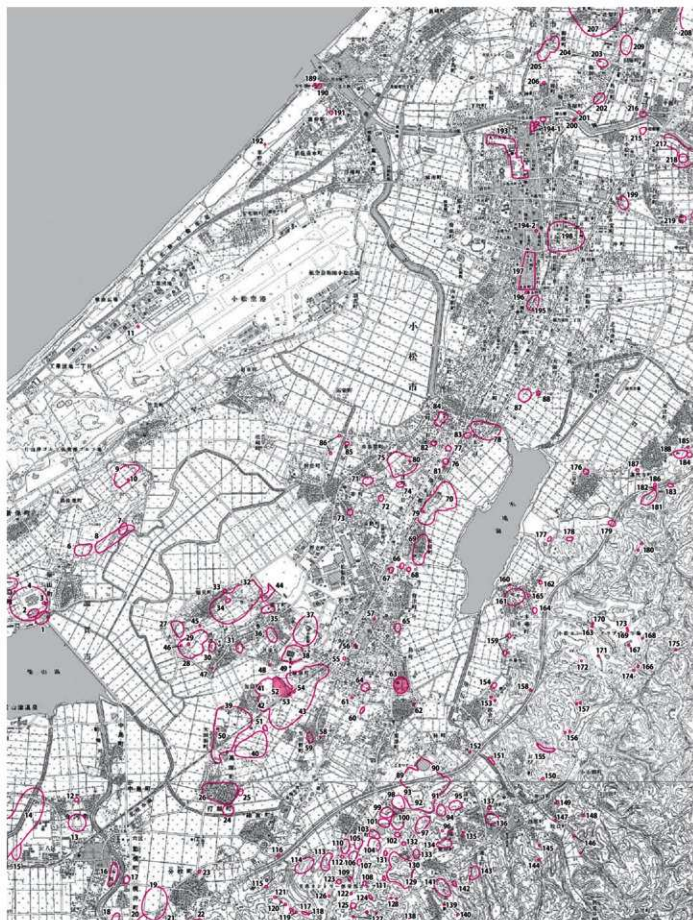
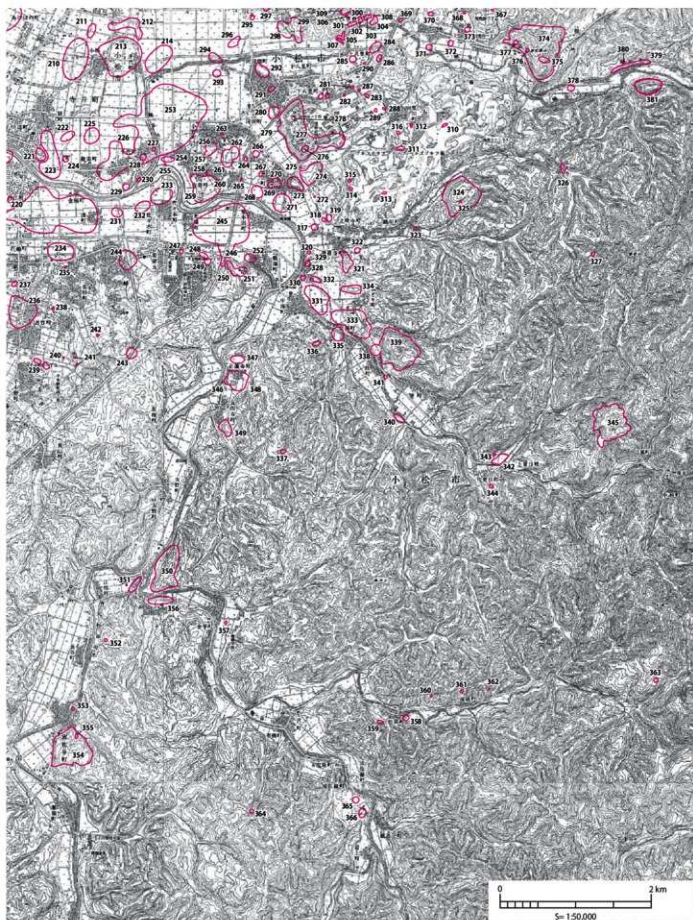


图3 遺跡分布図



れてきた。明治44年～大正12年に石田橋～安宅間の開削工事により、現在の河道になり、河川改修は現在も続いている。

本報告で言う梯川デルタとは、事実上、梯川と今江湯・木場湯を結んだ領域を指している。図2に表示はないが、この領域には明治20年頃までは扇形に小河道群が残っており、灌漑に利用されていた。この中央を貫流していた猫橋川が本流とされ、これら小河道群は、デルタを形成した梯川旧河道群と見なされる。傾斜の少ない平坦な地形はしばしば洪水被害を引き起こし、明治32年の耕地整理法以降、用水確保と洪水防除の必要から用排水路の整備が繰り返行われた。

第2節 歴史的環境

(1) 旧石器～縄文時代の遺跡

発見例自体は決して少なくないが、小松市内では資料が乏しい。能美丘陵界限で言えば、河田山遺跡(276)や八里向山A～F遺跡(300～305)など、散発的に遺物や遺構が確認された例はあるが、集落遺跡としての確認例は断片的である。能美市能美丘陵東遺跡群では、宮竹庄が屋敷A～D遺跡や宮竹うっしよやまA・B遺跡(いずれも図郭外)など、縄文時代中期を中心に豊富な資料を得るに至っている。遺跡のほぼ全域を調査したこの両者は非常に好対称をなしている。

一方、月津台地では、念仏林遺跡(37)が集落遺跡としては代表的な調査例と言えるだろう。近現代の開発も含め、多くが後世の破壊を受けて潰滅的な状態の中で、集落像の一事例を提供している。能美丘陵でも月津台地でも、縄文時代の集落遺跡の多くは短期間に営まれた小集落で、南加賀では能美丘陵が分布的中心をなすと見なされる。

(2) 弥生時代の遺跡

八日市地方遺跡(198)が大規模な環濠集落として特筆され、中期はここだけに収斂する趨勢であり、後期頃から古墳時代前期にかけて梯川周辺に広い範囲に集落が点在する景観となる。代表的なところでは、高堂遺跡(図郭外)、大長野A遺跡(210)、漆町遺跡(220)、荒木田遺跡(245)のように、広大な領域の複合遺跡で法弘期頃以降の遺物が出土していて、月影期頃にかけては、河田山遺跡(276)や八里向山A遺跡(300)で高地性集落が確認されている。ただ注意が必要なのは、広大な領域の複合遺跡というのは、現集落からはずれた範囲であることが前提であり、範囲の狭小な遺跡は、現集落と重複して確認できないことが多い。

(3) 古墳

能美地域の首長墓の系譜とされる末寺山5・6号墳、秋常山1号墳、和田山5号墳(いずれも図郭外)を擁する能美古墳群が手取川河道域と目される領域の南に接して築造される。造墓は弥生時代末に始まり、古墳時代を通じて造墓が継続する、能美地域の中核的古墳群と評価されている。

能美丘陵界限では、中期後半以降、河田山古墳群(277)や下開発茶白山古墳群(図郭外)など、中小規模の円墳・方墳が尾根筋に密集して混在しないいずれかのみ構成で築造される群集墳が各所に分布する。また、平野部では、千代オオキダ遺跡(226)で、削平された方墳からなる前期段階の古墳群が発見され、新たな知見を得るに至っている。

月津台地では、小規模な後期古墳が疎らに分布する趨勢で「三湖台古墳群」と総称され、古墳群としては江沼地域に属する。造墓が始まる早い段階では白のほぞ古墳(44)や御幸塚古墳(82)などの中規模の前方後円墳が見られるが、主体は小規模な円墳で、埴輪を伴う。矢田借屋古墳群(52)のような密集する造墓のあり方は、三湖台古墳群では今のところ特異な事例といえるだろう。

埋葬施設は、木棺直葬から後期前半に木芯粘土室、さらに後半に切石積横穴式石室が採用される。

(4) 古墳時代～古代・中世の遺跡

集落遺跡の趨勢で言えば、6世紀以降8世紀にかけては集落の再編期に当たり、相対的に資料が稀薄になる傾向があり、7世紀頃を前後して廃絶する集落と出現する集落がある。

7世紀代の月津台地では、額見町遺跡(32)の発掘調査以降、矢田野遺跡(43)、薬師遺跡(70)でL字形カマドを設けた竪穴建物跡の発見が相次ぎ、渡来系移民の動静が、木場潟を挟む対岸の江沼丘陵を占地する古代製鉄遺跡群の趨勢との相関性において注目される。

梯川デルタ地域に目を転じると、8世紀、在郷の財氏関連遺跡とされる佐々木遺跡(231)が異彩を放つほかは、概ね盛期が9世紀後半～10世紀前半になる傾向が知られている。墨書土器をはじめとして、施釉陶器や風字硯など、上級に格付けされる遺物が出土するものの、大型建物や倉庫群といった目立つ遺構の発見例に恵まれず、集落遺跡の評価を難しくしている。

寺院跡として、図3には中宮八院(319、322、331、338、347、348、349、352)を表示しているが、現状は伝承地の域を出ない。発掘調査された寺院跡として、浄水寺跡(243)、八里向山B遺跡(301)、里川E遺跡(314)が、いずれも加賀立国以後、中宮八院以前に成立した山林寺院に位置づけられ、浄水寺のほかは短期間で廃絶している。また、目下調査中の松谷寺跡(349)では、8世紀前半に遡る古代山林寺院跡が確認され、「松谷廃寺」として名称上の区別を明確にして取り扱うこととなった。なお、同調査で「松谷寺」は確認に至っていない。

製陶遺跡群について、6世紀前半には二ツ梨東山古窯跡(105)で須恵器生産を開始し、二ツ梨豆岡向山古窯跡群(100)、二ツ梨殿様池古窯跡群(101)で埴輪を焼成した窯も確認されており、江沼地域の古墳出土埴輪の供給地と考えられている。以後、10世紀中頃まで操業が続く南加賀古窯跡群が江沼丘陵を占地する。一方の能美丘陵では、7世紀前半に八里向山J遺跡(地蔵谷古窯跡:309)で須恵器生産を開始し、同後半代には湯屋古窯跡群(図郭外)に操業の拠点を移動する。8世紀前半には和気古窯跡群(図郭外)へさらに移動し、9世紀前半まで窯を移動しながら操業が続き、疎らな窯跡群を残した。これら能美市和気地区の窯跡群は、能美古窯跡群の南群として括られ、窯1基あたりの出土量が多い特徴が知られている。南加賀古窯跡群との比較では、操業の盛衰が補完的な傾向が指摘される一方で、技術的にも供給的にも両者の異質性も指摘されている。

これら製陶遺跡群とほぼ重複して、製鉄遺跡群も分布する。遺跡の性質上、時代不詳の遺跡は多いが、現在までに知られる最古の例として、蓮代寺ガッシュウタン遺跡(183)で製鉄に伴うと見られる製炭窯が7世紀後半～未定ないし8世紀初頭に比定されている。

律令期～中世には、各所で荘園が開発されるが、発掘調査でこれに関連する成果として、徳久・荒屋遺跡、下開発遺跡(いずれも図郭外)が律令期に成立した東大寺領幡生荘に比定されている。また、白江柳川遺跡(218)、漆町遺跡(220)は中世に皇室領や京都妙法院領として経営された南白江荘に関連する遺跡とされ、前者は在地領主層の拠点となる領域と考えられている。白江堡跡(218)は、『能美郡誌』によれば、従前の白江念仏寺塔遺跡(漆町遺跡:220)周辺が推定地の一つに上がっていたが、『石川県遺跡地図』に記載される内容と、従来プロットされていた旧白江墓地で埋蔵文化財が存在しなかった事実を勘案すれば、現在までの情報に照らす限りは、ここに比定すべきだろう。

(5) 中世の城館・寺院・窯跡

中世城館跡や中世寺院跡は、文献や口碑によるところが大きく、その多くは一向一揆にまつわるものである。近代の耕地整理で破壊を受けた遺跡が多く、調査が入った事例は極めて乏しい。岩瀧城跡(339)、岩倉城跡(345)、波佐谷城跡(354)など、縄張り図が作成されている事例はあるが、いずれも、城郭としての構造が判然としない。

中世窯業について、古代の南加賀古窯跡群の分布域にほぼ重複して、在地瓷器系窯、いわゆる「加賀窯」が分布する。常滑窯の技術に基づく窯で、甕を中心とした日用雑器類の生産が主力であったとされる。操業の期間が短く、12世紀末までには二ツ梨奥谷1号窯(108)で操業を開始し、湯上谷古窯跡群(143)で盛期を迎えるが、これを最後に14世紀代に一旦途絶え、西荒谷カマンダニ窯(図郭外)で越前窯の技術移植により一時操業するが、現在までに流通は確認されておらず、程なく終焉したといわれている。

(6) 近世～現代

1640(寛永17)年、藩主を退いた前田利常の小松城入城を契機として、城下町としての小松町が成立するが、関連するところで大川遺跡・東町遺跡(194)が埋蔵文化財包蔵地(近世の町屋跡)として周知化されている。大川遺跡では発掘調査も実施され、小松市でも近世城下町に考古学のメスが入りつつある。なお、前田利常の没後、亡骸は三宅野(現在の小松市河田町地内)で茶昆に付されたとされており、灰塚(264)が伝わっている。

近代窯業の関連で、南加賀では19世紀初めに加賀藩窯としての若杉窯(235)に始まるいわゆる再興九谷は、肥前系の染付・色絵の技術を移植して操業が軌道に乗り、若杉窯で技術を習得した陶工らによって、蓮代寺窯(186)、小野窯(263)などの民窯も操業を始めた。近代以降も民営の製陶業は引き継がれている。窯業という括りでは言えば、再興九谷とほぼ時期を同じくして越前より技術移植して操業が始まる製瓦業も現代に引き継がれ、製品は「小松瓦」と呼ばれる。

さて、現集落の多くは近世以降に興った集落であり、地名も、郷名または荘園、中宮八院に所以を持つものなど見られるが、集落自体に直接の関係はなく、地名伝承にも不確かな部分が多い。史実で確かめられる伝承でも、例えば、一向一揆の古戦場伝承が古墳と結びついたり(土百古墳:81)、戦国末期の武将の墓と伝承される塚が古墳であったり(左門殿古墳:45)するなど、類似の事例はいくつか明らかになっている。加賀国府・国分寺や中宮八院などの文献史の分野で研究が進んでいる場合でも、伝承地が曖昧であったり複数あるなど、所在が確認できない現状を抱えている。

表1 遺跡地名表

No	名 称	種 別	時 代	備 考
1	樂山神社古墳	古墳	縄文	
2	樂山神社遺跡	その他(遺)	中世	
3	樂山神社遺跡	跡布地	不詳	
4	樂山遺跡	城跡跡	中世	
5	一宮A遺跡	跡布地	古墳～古代	
6	樂山古塚	古墳・集落跡	縄文	加賀市歴史館
7	樂山古塚	集落跡	古代	
8	樂山古塚遺跡(A地点)	古墳	弥生	樂山古塚遺跡A地点に所在する古墳
9	樂山古塚遺跡(B地点)	集落跡	弥生	
10	法の上遺跡	跡布地	古代～中世	樂山古塚に隣接する地点
11	佐々木遺跡	城跡跡	縄文	
12	三ツ木遺跡	跡布地	中世	
13	新橋遺跡	跡布地	不詳	
14	新橋遺跡	跡布地	古代(平安)	
15	龍橋遺跡	跡布地	縄文	
16	龍橋遺跡	集落跡	弥生～中世	
17	都もどり地蔵遺跡	跡布地	古代	
18	新橋遺跡	集落跡	縄文	
19	新橋遺跡	跡布地	古代	
20	新橋遺跡	跡布地	古代(平安)	
21	分枝山古墳群	古墳	古墳	円墳2
22	分枝山古墳群	古墳	古墳	前方後円墳3、円墳10、古墳6
23	分枝山古墳群	古墳	古墳	前方後円墳
24	分枝山遺跡	跡布地	縄文	
25	分枝山遺跡	跡布地	古代	
26	分枝山遺跡	集落跡	弥生	
27	分枝山遺跡	城跡跡	中世(安土桃山)	
28	分枝山遺跡	集落跡	弥生～中世	
29	分枝山遺跡	跡布地	不詳	
30	分枝山遺跡	跡布地	縄文	
31	分枝山遺跡	跡布地	古代(奈良)	

No	名 称	種 別	時 代	備 考
30	川津オキ遺跡	跡布地	古墳・中世	
31	川津A遺跡	跡布地	古代(奈良)	
32	船形B遺跡	跡布地	縄文	
33	船形神前A遺跡	跡布地	古墳～中世	
34	船形神前B遺跡	跡布地	古墳	船形B遺跡の一部
35	津和遺跡	跡布地	縄文・不詳	船形B遺跡の一部
36	川津新遺跡	跡布地	縄文・古代	
37	志弘林遺跡	集落跡	縄文	
38	志弘高瀬遺跡	集落跡	弥生～古墳	
39	矢田新遺跡	跡布地	古代(奈良)	
40	刀持津遺跡	集落跡	古代・中世	
41	矢田A遺跡	跡布地	縄文	
42	矢田B遺跡	跡布地	古墳	矢田新遺跡の一部
43	矢田野遺跡	集落跡	古墳～古代	
44	下河辺平古墳	古墳	古墳	前方後円墳
45	下河辺古墳	古墳	古墳	円墳
46	新山古墳	古墳	古墳	円墳、2段電柱
47	熊寺古墳	古墳	古墳	円墳
48	志弘塚古墳	古墳	古墳	円墳
49	志弘林古墳	古墳	古墳	円墳、木立跡1基
50	丸山古墳	古墳	古墳	円墳、切石積壇式石室、家形石棺
51	筑前寺古墳	古墳	古墳	円墳、切石積壇式石室
52	鳥居塚遺跡(鳥居塚)	集落跡	縄文	円墳、切石積壇式石室
53	百人塚古墳	古墳	古墳	円墳 14、前方後円墳 3、不明 1、木立跡1基
54	矢田野古墳群	古墳	古墳	円墳 3、前方後円墳 1
55	矢田野エシロ古墳	古墳	古墳	前方後円墳
56	笹塚塚古墳	古墳	古墳	前方後円墳
57	持津山古墳	古墳	古墳	円墳、切石積壇式石室
58	中村古墳	跡布地	古墳	円墳、切石積壇式石室
59	矢田野神前古墳群	跡布地	古代(平安)	
60	下粟津A塚古墳	竊穴墓	不詳	竊穴1～8
61	越塚塚	塚塚	不詳	
62	下粟津B塚古墳	竊穴墓	不詳	竊穴2
63	鳥遺跡	鳥遺跡	弥生～中世	
64	船B遺跡	跡布地	古代	
65	船C遺跡	跡布地	古墳	方墳?
66	川津A遺跡	跡布地	縄文	
67	川津B遺跡	跡布地	縄文	
68	川津C遺跡	集落跡	古墳	
69	矢崎宮の下遺跡	集落跡	縄文・中世	
70	船形遺跡	集落跡	古墳～古代	
71	赤巾ツヤマA遺跡	跡布地	古代(奈良)	
72	赤巾ツヤマB遺跡	跡布地	古墳	
73	赤巾ツヤマC遺跡	跡布地	古墳	
74	今江内A遺跡	跡布地	弥生	
75	船山遺跡	集落跡	古墳	
76	土古遺跡	跡布地	縄文	
77	今江五丁遺跡	集落跡	縄文・古墳	
78	五郎塚古墳	古墳	古墳	
79	大塚古墳	古墳	古墳	
80	船山古墳	古墳	古墳	
81	土古古墳	古墳	古墳	
82	鎌倉塚古墳	古墳	古墳	前方後円墳、小形石積壇式石室
83	今江坂古墳	竊穴墓	不詳	竊穴4
84	鎌倉塚遺跡	集落跡	中世	土塚と鳥塚の一部
85	赤古遺跡	生産遺跡	中世末	製陶
86	江上古遺跡	生産遺跡	古伊勢期	製瓦
87	大坂遺跡	集落跡	古代	
88	茂月古遺跡	牛の糞の遺	中世末	船形否定遺跡
89	林田新方跡	柱方跡	不詳	
90	林遺跡(林多ウヤマ古遺跡群)	生産遺跡	古墳	築塚跡 3、南加賀古遺跡北遺跡
	林遺跡(林オオミヌ古遺跡群)	生産遺跡	古墳	築塚跡 2、土師器 1、南加賀古遺跡北遺跡
	林遺跡(林オオミヌ古遺跡群)	生産遺跡	古墳	築塚跡 2、土師器 4、鏡片 2、鏡片 2
91	江戸津ミナト古遺跡	生産遺跡	古代(平安)	土師器 2、南加賀古遺跡北遺跡
	江戸津ミナト古遺跡	生産遺跡	古代(平安)	製鉄炉 4、製鉄炉 3
92	江戸津古遺跡	生産遺跡	古代、中世(鎌倉)	築塚跡 36(瓦葺築塚 5)、土師器 19、製瓦 2、加賀 1、南加賀古遺跡北遺跡
93	江戸津六ツ古遺跡	生産遺跡	古墳	築塚跡 1、南加賀古遺跡北遺跡
94	江戸津1号遺跡	生産遺跡	古墳(平安)	製鉄炉
95	江戸津アサヒ古遺跡	生産遺跡	不詳	製鉄炉 1、製鉄炉 1
96	江戸津セツガサ古遺跡	生産遺跡	古代(平安)	土師器 1、製鉄炉 1、南加賀古遺跡北遺跡
97	江戸津アサヒ古遺跡	生産遺跡	不詳	製鉄炉
98	二ツ塚一區古遺跡	生産遺跡	古代(奈良)	築塚跡 2、製鉄炉 1、南加賀古遺跡北遺跡
99	二ツ塚二區古遺跡	生産遺跡	古墳～古代	築塚跡 12、土師器 28、製鉄炉 1、製瓦 2、南加賀古遺跡北遺跡
100	二ツ塚三區古遺跡	生産遺跡	古墳～古代	土師器 4
101	二ツ塚四區古遺跡	生産遺跡	古墳	築塚跡 12(土師器 2、瓦葺築塚 2)、南加賀古遺跡北遺跡
102	二ツ塚五區古遺跡	生産遺跡	古墳～古代(平安)	築塚跡 6(南加賀遺跡) 3、土師器 13、南加賀古遺跡北遺跡
103	二ツ塚六區古遺跡	生産遺跡	古墳	土師器 14、築塚跡 5、南加賀古遺跡北遺跡
104	二ツ塚七區古遺跡	生産遺跡	古墳	築塚跡 3、南加賀古遺跡北遺跡
105	二ツ塚八區古遺跡	生産遺跡	古墳	築塚跡 5、南加賀古遺跡北遺跡
106	二ツ塚九區古遺跡	生産遺跡	古代(奈良)	築塚跡 11、製鉄炉 1、製瓦 1、南加賀古遺跡北遺跡
107	二ツ塚十區古遺跡	生産遺跡	古代(奈良)	築塚跡 11、製鉄炉 1、南加賀古遺跡北遺跡

No	名	種	種	種	種	種	種
108	ツルギ古墳群	古墳遺跡	古代(平安末)	国史跡第2、加賀2、南加賀古墳跡北群			
109	ツルギ古墳群1-2号墳跡	古墳遺跡	不詳	加賀2			
110	ツルギ古墳群3号墳跡	古墳遺跡	古代	国史跡第6(古陶器遺跡)、南加賀古墳跡北群			
111	ツルギ古墳群4号墳跡	古墳遺跡	古墳	国史跡第6、南加賀古墳跡北群			
112	ツルギ古墳群5号墳跡	古墳遺跡	古代(奈良)	国史跡第6、南加賀古墳跡北群			
113	矢田原古墳群	古墳遺跡	古代(奈良)・中世(鎌倉)	国史跡第4、加賀2、加賀1、南加賀古墳跡北群			
114	飯沢トウヤマ古墳群	古墳遺跡	古代(奈良)・中世(鎌倉)	国史跡第6、加賀2、南加賀古墳跡北群			
115	飯沢A遺跡	跡地	中世				
116	飯沢B遺跡	跡地	中世				
117	木下古墳1-2号墳跡	古墳遺跡	中世(鎌倉)	加賀2			
118	木下古墳3号墳跡(天石山1号墳跡)	古墳遺跡	古墳	加賀2			
119	木下古墳2-3号墳跡	古墳遺跡	古墳	加賀2			
120	木下古墳1-2号墳跡	古墳遺跡	古墳	加賀2			
121	大久保古墳群	古墳遺跡	古墳	加賀2			
122	飯沼1号墳跡	古墳遺跡	中世(鎌倉)	加賀2			
123	矢田原オナツツヅニ古墳群	古墳遺跡	古墳	加賀3			
124	矢田原1-2号墳跡	古墳遺跡	古墳				
125	飯沼1号墳跡	古墳遺跡	古墳				
126	飯沼6号墳跡	古墳遺跡	古墳				
127	飯沼中山古墳群	古墳遺跡	古墳	加賀3			
128	上飯沼スエデン古墳群	古墳遺跡	古墳	加賀2			
129	上飯沼ジャコブズニ遺跡	古墳遺跡	古代(平安)	国史跡第4、加賀3、南加賀古墳跡北群			
130	上飯沼ヤマイダニ遺跡	古墳遺跡	古代(平安)	国史跡第4-5、加賀2、飯六、地下式石1、南加賀古墳跡北群			
131	飯沼ツツヅニニヤマ古墳群	古墳遺跡	古墳・古代(奈良)	国史跡第4、南加賀古墳跡北群			
132	飯沼ニヤマ遺跡	古墳遺跡	古代(奈良)	国史跡第4、南加賀古墳跡北群			
133	飯沼トウヤマ古墳群	古墳遺跡	古代(奈良)・中世(鎌倉)	国史跡第1、加賀2、加賀1、南加賀古墳跡北群			
134	上飯沼ツツヅニニヤマ古墳群	古墳遺跡	中世(鎌倉)	加賀2、加賀1			
135	伊津1-2号墳跡	古墳遺跡	古墳	加賀2			
136	伊津本遺跡	跡地	中世(室町)				
137	伊津本神社前遺跡	跡地	古代(室町)				
138	上飯沼宮内遺跡	古墳遺跡	古墳	加賀1			
139	飯沼ニヤマ遺跡	古墳遺跡	古代(平安)	国史跡第1、加賀1、南加賀古墳跡北群			
140	飯沼ツツヅニニヤマ遺跡	古墳遺跡	古墳	加賀1			
141	上飯沼ホヅウヤマ遺跡	古墳遺跡、社寺跡、墳墓	古代(平安)～中世	国史跡第5、加賀1、墳墓、南加賀古墳跡北群			
142	上飯沼ハンタニ古墳群	古墳遺跡	中世(鎌倉)	加賀2			
143	飯六古墳群	古墳遺跡	中世(鎌倉)	加賀2第10、加賀2			
144	西原フユヤニ古墳群	古墳遺跡	古墳	加賀			
145	西原ヒナノヤマトナツ古墳群	古墳遺跡	古墳	加賀2			
146	飯六トウヤマ遺跡	古墳遺跡	古墳	加賀2			
147	飯六中世遺跡	墳墓	中世(鎌倉)	国史跡比定地			
148	川口トウヤマ遺跡	古墳遺跡	古墳	加賀3跡地			
149	川口神社前遺跡	古墳遺跡	古墳	加賀			
150	川口エドウ遺跡	古墳遺跡	古墳	加賀			
151	川口遺跡	跡地	古墳				
152	飯六(飯沼)遺跡	跡地	中世(鎌倉)				
153	飯沼遺跡(ツツヅニ)	古墳遺跡	古墳	地下式石6、2、墓跡			
154	大谷古墳群	古墳遺跡	古墳				
155	小川田コガタニ遺跡	跡地	古墳	飯沼跡地			
156	小川田スエデン古墳群	古墳遺跡	古墳	加賀2			
157	小川田オクサマニ遺跡	古墳遺跡	古墳	加賀2			
158	津波沢(ツツヅニ)ニヤマニ古墳群	古墳遺跡	古墳	加賀1、飯沼跡地			
159	本塚古墳群	古墳	古墳	伊賀4			
160	本塚古墳群	古墳	古墳	地下式石(飯沼)跡地とされる			
161	本塚古墳群	古墳	古墳				
162	本塚古墳群	跡地	古墳				
163	本塚A遺跡(本塚遺跡B地区)	古墳遺跡	古代(奈良)	加賀1、加賀2			
164	本塚B遺跡	跡地	古代(平安)～中世				
165	本塚C遺跡	跡地	古墳				
166	本塚遺跡A地区(1号墳跡)	古墳遺跡	古代(平安)	加賀3、飯沼跡地			
167	本塚遺跡B地区(2号墳跡)	古墳遺跡	古代(平安)	加賀2、加賀2			
168	本塚遺跡C地区(3号墳跡)	古墳遺跡	古墳	加賀			
169	本塚遺跡D地区(4号墳跡)	古墳遺跡	古墳	加賀1、加賀1			
170	本塚遺跡E地区(5号墳跡)	古墳遺跡	古墳	加賀			
171	本塚遺跡F地区(6号墳跡)	古墳遺跡	古墳	加賀			
172	本塚遺跡G地区(7号墳跡)	古墳遺跡	古墳	加賀			
173	本塚遺跡H地区(8号墳跡)	古墳遺跡	古墳	飯六			
174	本塚遺跡	跡地	古墳	飯沼跡地			
175	長谷長尾屋の跡地	跡地	古墳	飯沼跡地			
176	谷遺跡	跡地	古墳				
177	谷古墳群	古墳遺跡	古墳				
178	谷トウヤマ遺跡	古墳遺跡	古墳	地下式石			
179	谷古墳群	古墳遺跡	古代(奈良)				
180	谷古墳群	古墳遺跡	古墳	飯沼跡地			
181	飯沼古墳群	古墳遺跡	古墳	小塚遺跡跡地			
182	飯沼寺(小川田)古墳群	古墳遺跡	中世(鎌倉)	加賀1、加賀1			
183	飯沼寺(小川田)古墳群	古墳遺跡	古墳	加賀3、飯沼跡地			
184	飯沼寺A遺跡	跡地	古墳	飯沼跡地			
185	飯沼寺B遺跡	跡地	古墳	加賀			
186	飯沼寺C遺跡	古墳遺跡	古墳	飯沼寺(飯沼寺跡)			
187	飯沼寺D遺跡	古墳遺跡	古墳	飯沼寺			
188	飯沼寺跡	跡地	古墳	飯沼寺(飯沼寺跡)			
189	飯沼寺跡	跡地	古墳	飯沼寺(飯沼寺跡)			
190	飯沼寺跡	跡地	古墳	飯沼寺(飯沼寺跡)			
191	飯沼寺跡	跡地	古墳	飯沼寺(飯沼寺跡)			
192	飯沼寺跡	跡地	古墳	飯沼寺(飯沼寺跡)			
193	飯沼寺跡	跡地	古墳	飯沼寺(飯沼寺跡)			
194	飯沼寺跡	跡地	古墳	飯沼寺(飯沼寺跡)			

No	名 称	種 別	時 代	備 考
194-2	東町遺跡	井原跡	古墳	古墳小形(東町)・東町(南尾跡)
195	中町遺跡	牛産遺跡	中世(室町)	跡地
196	多々良川内遺跡	跡地	中世(室町)	埋没民泊(土庫)
197	東町跡	稲田跡	古墳	本所氏別荘跡(東町の一)
198	八口小地方遺跡	跡地	縄文・中世	
199	小水遺跡	集落跡	弥生	埋没集落
200	福山跡(福山遺跡)	跡地	弥生	福山に分類された古墳群包蔵地
201	福山跡(福山遺跡)	跡地	弥生	福山に分類された古墳群包蔵地
202	福山A遺跡	跡地	古墳～古代	
203	福山B遺跡	跡地	古墳	
204	福山C遺跡	稲田跡	中世(室町)	
205	筑前遺跡	跡地	弥生～古代	
	集落跡	中世		一向一揆・戦国期七瀬寺院跡(築地)
206	福遺跡	跡地	弥生～古代	
	集落跡	中世		
207	北塚遺跡	跡地	縄文～弥生・中世	
	集落跡	古墳～古代		
208	長田遺跡	跡地	弥生～古墳	
209	長田南遺跡	跡地	弥生・古代(平安)	
210	大長野A遺跡	集落跡	中世(室町)	
211	大長野B遺跡	跡地	不詳	
212	平高野の古墳群	集落跡	古代(平安)	
213	千代子ノ子遺跡	集落跡	弥生～中世	
214	寺島ウツシ遺跡	集落跡	縄文・中世	
215	平田福山遺跡	集落跡	弥生	福山に分類された古墳群包蔵地
216	平田福山B遺跡	跡地	弥生	福山に分類された古墳群包蔵地
217	三山福山遺跡	集落跡	弥生・中世	
218	三山(塚跡)	稲田跡	中世(室町)	三山(新田)伊藤氏別荘
219	三山(遺跡)	跡地	古墳～中世	埋没遺跡の一部
220	三山(遺跡)	集落跡	弥生～中世	
221	一軒B遺跡	跡地	縄文	
222	一軒B遺跡	集落跡	弥生～古墳	
223	一軒C遺跡	集落跡	弥生～古墳	
224	定地坊跡	社寺跡	中世(室町)	
225	千代・兼天遺跡	集落跡	古墳～中世	
	跡地	縄文～弥生		
226	千代オオキタ遺跡	古墳	古墳	古墳6
227	千代小野町遺跡	跡地	古墳	
228	千代塚跡	稲田跡	中世(室町)	
229	千代本村遺跡	跡地	古墳	
230	稲田遺跡	跡地	縄文	
231	長々小遺跡	集落跡	古代	別荘(別荘) (奈良)
232	長々木ノ子ウツシ遺跡	集落跡	弥生～中世	
233	長々木ノ子ウツシウツシ遺跡	集落跡	弥生～中世	
234	江藤遺跡	跡地	古代	
235	江村遺跡	牛産遺跡	近世末	再興(古)「村長」遺跡(式部)
236	吉竹遺跡	集落跡	弥生～中世	
237	吉竹B遺跡(吉竹遺跡19地区)	跡地	古墳	別荘跡の埋没
238	吉竹C遺跡	集落跡	弥生～中世	
	「本所」遺跡	跡地	縄文	
239	千木野(A)遺跡	古墳	古墳	古墳8
	千木野(B)遺跡	集落跡	古墳	
240	橋生1号遺	古墳	古墳	所在不詳、保存するのは現代残すのみ)
241	塚谷古墳・塚谷2号遺	古墳	古墳	石石輪式石室
242	若村オオツツ山1号遺跡	牛産遺跡	古墳	築地跡
243	浄水寺跡	社寺跡	古代～中世	跡地は加賀(加賀)・国分寺(西)山崎寺(西)の一
	八幡遺跡	跡地	縄文	
	集落跡	弥生～古墳・古代(奈良)・中世(鎌倉)		
244	その他の墓	古代(平安)		土坑墓
	古墳	古墳		円筒墓、木芝墓10室
245	八幡宮(八幡宮)	牛産遺跡	近世末	再興(古)「八幡宮(八幡宮)」古墳6号遺跡(平)で集めた遺跡(式部)
246	長木山遺跡	古墳	古墳～中世	
247	軽海内(寺)遺跡	集落跡	縄文・中世	
248	軽海遺跡	跡地	弥生	
249	福山遺跡	跡地	弥生～中世	
250	福山(中世)遺跡	牛産遺跡	古墳	土作
251	軽海(中世)遺跡	その他の墓	中世(室町)	墓石墓9
252	軽海(中世)遺跡	社寺跡	古代(平安)	大興(中世)跡地
253	西宮(中世)遺跡	社寺跡	古代(平安)	西宮(中世)跡地
254	古河(中世)遺跡	集落跡	弥生～古代	
255	古河(中世)遺跡	集落跡	古代(平安)	
256	古河(中世)遺跡	社寺跡	古代(平安)	加賀(中世)寺(中世)
257	十九堂(中世)遺跡	その他の墓	中世(室町)	
258	古河(中世)遺跡	不詳	不詳	
259	江村(中世)遺跡	跡地	古墳(平安)～中世	
260	長野(中世)遺跡	跡地	縄文	
261	小野(中世)遺跡	集落跡	古代(平安)	加賀(中世)確定地の一角
262	小野(中世)遺跡	集落跡	古代(平安)	加賀(中世)確定地の一角
263	小野(中世)遺跡	牛産遺跡	近世末	再興(古)「小野」
264	福山(中世)遺跡	その他の墓	古墳	福山(中世)公(奈良)に付された地とされる
265	福山(中世)遺跡	その他の墓	近世末	再興(古)「小野」
266	福山(中世)遺跡	跡地	不詳	吉野(中世)伊藤氏と藤原氏(奈良)に付された地とされる。小形(中世)確定地

No	名	地	種別	時代	備	考
267	福田ヒヤンタン遺跡	遺跡地	古墳	不詳		
268	福田ウラムキ遺跡	遺跡地	古墳	古代～中世		
269	福田アムカワ遺跡	遺跡地	古墳	古墳		
270	菅谷古墳群遺跡	遺跡地	古墳	縄文・中世(早期)		
271	福田遺跡	遺跡地	古墳	古墳		
272	福田塚	古墳	古墳	古墳		
273	福田山古墳群	古墳	古墳	古墳	円墳9、本相遺跡、本志跡1号	
274	福田山古墳群	古墳	古墳	古墳	円墳12、方墳4	
275	藤井茂米古墳	古墳	古墳	古墳	円墳	
276	河田山遺跡	遺跡地	古墳	古墳	古墳	
277	河田山古墳群	古墳	古墳	古墳	古墳	
278	河田山古墳群	古墳	古墳	古墳	古墳	
279	河田山古墳群	古墳	古墳	古墳	古墳	
280	河田山古墳群	古墳	古墳	古墳	古墳	
281	下八平塚古墳	古墳	古墳	古墳	古墳	
282	下八平塚古墳	古墳	古墳	古墳	古墳	
283	下八平塚古墳	古墳	古墳	古墳	古墳	
284	下八平塚古墳	古墳	古墳	古墳	古墳	
285	下八平塚古墳	古墳	古墳	古墳	古墳	
286	下八平塚古墳	古墳	古墳	古墳	古墳	
287	下八平塚古墳	古墳	古墳	古墳	古墳	
288	下八平塚古墳	古墳	古墳	古墳	古墳	
289	下八平塚古墳	古墳	古墳	古墳	古墳	
290	下八平塚古墳	古墳	古墳	古墳	古墳	
291	下八平塚古墳	古墳	古墳	古墳	古墳	
292	下八平塚古墳	古墳	古墳	古墳	古墳	
293	下八平塚古墳	古墳	古墳	古墳	古墳	
294	下八平塚古墳	古墳	古墳	古墳	古墳	
295	下八平塚古墳	古墳	古墳	古墳	古墳	
296	下八平塚古墳	古墳	古墳	古墳	古墳	
297	下八平塚古墳	古墳	古墳	古墳	古墳	
298	下八平塚古墳	古墳	古墳	古墳	古墳	
299	下八平塚古墳	古墳	古墳	古墳	古墳	
300	八平塚山A遺跡	遺跡地	古墳	古墳	古墳	
301	八平塚山B遺跡	遺跡地	古墳	古墳	古墳	
302	八平塚山C遺跡	遺跡地	古墳	古墳	古墳	
303	八平塚山D遺跡	遺跡地	古墳	古墳	古墳	
304	八平塚山E遺跡	遺跡地	古墳	古墳	古墳	
305	八平塚山F遺跡	遺跡地	古墳	古墳	古墳	
306	八平塚山G遺跡	遺跡地	古墳	古墳	古墳	
307	八平塚山H遺跡	遺跡地	古墳	古墳	古墳	
308	八平塚山I遺跡	遺跡地	古墳	古墳	古墳	
309	八平塚山J遺跡	遺跡地	古墳	古墳	古墳	
310	八平塚山K遺跡	遺跡地	古墳	古墳	古墳	
311	八平塚山L遺跡	遺跡地	古墳	古墳	古墳	
312	八平塚山M遺跡	遺跡地	古墳	古墳	古墳	
313	八平塚山N遺跡	遺跡地	古墳	古墳	古墳	
314	八平塚山O遺跡	遺跡地	古墳	古墳	古墳	
315	八平塚山P遺跡	遺跡地	古墳	古墳	古墳	
316	八平塚山Q遺跡	遺跡地	古墳	古墳	古墳	
317	八平塚山R遺跡	遺跡地	古墳	古墳	古墳	
318	八平塚山S遺跡	遺跡地	古墳	古墳	古墳	
319	八平塚山T遺跡	遺跡地	古墳	古墳	古墳	
320	八平塚山U遺跡	遺跡地	古墳	古墳	古墳	
321	八平塚山V遺跡	遺跡地	古墳	古墳	古墳	
322	八平塚山W遺跡	遺跡地	古墳	古墳	古墳	
323	八平塚山X遺跡	遺跡地	古墳	古墳	古墳	
324	八平塚山Y遺跡	遺跡地	古墳	古墳	古墳	
325	八平塚山Z遺跡	遺跡地	古墳	古墳	古墳	
326	八平塚山AA遺跡	遺跡地	古墳	古墳	古墳	
327	八平塚山AB遺跡	遺跡地	古墳	古墳	古墳	
328	八平塚山AC遺跡	遺跡地	古墳	古墳	古墳	
329	八平塚山AD遺跡	遺跡地	古墳	古墳	古墳	
330	八平塚山AE遺跡	遺跡地	古墳	古墳	古墳	
331	八平塚山AF遺跡	遺跡地	古墳	古墳	古墳	
332	八平塚山AG遺跡	遺跡地	古墳	古墳	古墳	
333	八平塚山AH遺跡	遺跡地	古墳	古墳	古墳	

No	名 称	種 別	時 代	備 考
334	三首寺中社遺跡	その他の遺	中世	
335	赤坂宮遺跡	遺跡地	縄文	
336	松の木の宮遺跡	不詳	不詳	存在自体が不明、5基層以上とされる
337	石巻大工平ノ木宮礎石遺	礎石遺	中世	礎石3、地下式石4
338	豊興寺跡	社寺跡	古代(平安)	中世六層
339	河内宮跡	城跡跡	中世	
340	松ヶ丘城跡	城跡跡	中世	
341	石原御所跡・石原御所	その他の遺	古代(平安)	小松市指定史跡
342	宮内遺跡	遺跡地	縄文	
343	松の木の宮遺跡	その他の遺	中世	
344	平野ノ宮の遺跡	城跡跡	中世	礎石3
345	宇野宮跡	城跡跡	中世(室町)	
346	雄の木山遺跡	遺跡地	縄文	
347	三崎寺跡	社寺跡	不詳	中世六層
348	護国寺跡	社寺跡	古代(平安)	中世六層
349	松宮神社	社寺跡	古代(奈良)	8世紀前半に遷る古代大神寺院
350	平野宮跡	城跡跡	中世	中世六層
351	江高城跡(石原山御所)	城跡跡	中世(室町)	一向一揆・平野証山城址遺地
352	蓮花寺跡	社寺跡	不詳	中世六層
353	流石の遺跡	遺跡地	中世(室町)	
354	流石の遺跡	城跡跡	中世(室町)	一向一揆・宇野大工平野守山城址遺地
355	(伝)流石谷御所跡	社寺跡	中世(室町)	
355	流石谷御所跡	礎石遺	不詳	礎石13、地下式石5
356	上城遺跡	城跡跡	縄文	
357	麻呂原宮遺跡	遺跡地	縄文	
358	松宮寺跡	社寺跡	中世(室町)	
359	大石山城跡	礎石遺	不詳	礎石3
360	こたい谷城跡	礎石遺	不詳	礎石1
361	下川城跡	礎石遺	不詳	礎石1
362	加藤宮跡	城跡跡	中世(室町)	
363	松山城跡	城跡跡	中世	礎石1
364	赤坂宮跡	遺跡地	縄文	
365	寺ノ尾遺跡	遺跡地	縄文	ほかにも寺尾跡の伝説あり
366	飯宮下城跡	城跡跡	不詳	
367	和泉山宮跡	生産遺跡	古代(平安)	土師器の破片、縄文古銅器の破片、地山の土器
368	和泉山宮2号遺跡	生産遺跡	古代(奈良～平安)	須恵瓦葺、縄文古銅器の破片、地山の土器
369	和泉下和泉宮跡	生産遺跡	古代(平安)	須恵瓦葺、縄文古銅器の破片
370	和泉山宮跡	生産遺跡	古墳	
371	和泉宮1A遺跡	遺跡地	縄文	
372	和泉宮2A遺跡	城跡跡	不詳	
373	和泉中和泉宮跡	生産遺跡	不詳	須恵瓦葺、縄文古銅器の破片、地山の土器
374	伊予城跡	城跡跡	中世	
375	伊予城山崎ノ宮	礎石遺	不詳	
376	寺谷ノ宮跡	生産遺跡	不詳	須恵瓦葺、縄文古銅器の破片
377	今谷御所城六遺	山遺	不詳	
378	藤谷宮跡	社寺跡	不詳	
379	藤谷中社遺跡	その他の遺	中世	
380	藤谷城跡	礎石遺	不詳	
381	藤谷宮跡	城跡跡	不詳	

参考文献

- イ 石川県教育委員会(1992) 石川県遺跡地図
- 石川県立埋蔵文化財センター(1986) 漆町遺跡Ⅰ, 石川県小松市
- 石川県立埋蔵文化財センター(1988) 漆町遺跡Ⅱ, 石川県小松市
- 石川県立埋蔵文化財センター(1988) 辰口西部遺跡群Ⅰ, 石川県能美市
- 石川県立埋蔵文化財センター(1988) 白江梯川遺跡Ⅰ, 石川県小松市
- 石川県立埋蔵文化財センター(1989) 漆町遺跡Ⅲ, 石川県小松市
- 石川県立埋蔵文化財センター(1989) 漆町遺跡Ⅳ, 石川県小松市
- 石川県立埋蔵文化財センター(1989) 白江梯川遺跡Ⅱ, 石川県小松市
- 石川県立埋蔵文化財センター(1989) 蓮代寺地区遺跡Ⅰ, 石川県小松市
- 石川県立埋蔵文化財センター(1990) 小松市高堂遺跡
- 石川県立埋蔵文化財センター(1993) 能美丘陵東遺跡群Ⅰ, 石川県能美市
- 石川県立埋蔵文化財センター(1995) 石川県小松市荒木田遺跡
- 石川県立埋蔵文化財センター(1997) 能美丘陵東遺跡群Ⅱ, 石川県能美市
- 石川県立埋蔵文化財センター(1998) 能美丘陵東遺跡群Ⅲ, 石川県能美市
- (財)石川県埋蔵文化財センター(1999) 能美丘陵東遺跡群Ⅳ, 石川県能美市
- (財)石川県埋蔵文化財センター(1999) 能美丘陵東遺跡群Ⅴ, 石川県能美市
- (財)石川県埋蔵文化財センター(1999) 辰口町上徳山谷山西谷宮跡, 石川県能美市

- (財) 石川県埋蔵文化財センター (2002) 加賀市柴山貝塚・柴山山村遺跡
- (財) 石川県埋蔵文化財センター (2006) 小松市矢田野遺跡群
- (社) 石川県埋蔵文化財保存協会 (1993) 小松市林遺跡
- (社) 石川県埋蔵文化財保存協会 (1998) 石川県小松市八幡遺跡 I
- 石川考古学研究会 (1988) 石川県城館跡分布調査報告
- ウ 上野 興一 (1965) 考古篇、小松市史 4. 風土・民俗篇、小松市教育委員会、石川県
- カ 軽海用水誌編纂委員会 (1996) 軽海用水誌、小松東部土地改良区、p75-77. p201-221.、石川県
- コ 小松市教育委員会 (1988) 念仏林遺跡、石川県
- 小松市教育委員会 (1990) 湯上谷古窯跡、石川県
- 小松市教育委員会 (1990) ニツ梨東山古窯跡・矢田野向山古窯跡、石川県
- 小松市教育委員会 (1992) 矢田野エジリ古墳、石川県
- 小松市教育委員会 (2000) 矢田借屋古墳群、石川県
- 小松市教育委員会 (2003) 八日市地方遺跡 I、石川県
- 小松市教育委員会 (2004) 佐々木遺跡、石川県
- 小松市教育委員会 (2004) 八里向山遺跡群、石川県
- 小松市教育委員会 (2005) 小松市内遺跡発掘調査報告書 I. ニツ梨岡向山窯跡、石川県
- 小松市教育委員会 (2006) 小松市内遺跡発掘調査報告書 II. 矢田借屋古墳群、石川県
- 小松市教育委員会 (2006) 千代才オキダ遺跡、石川県
- 小松市教育委員会 (2006) 小野遺跡、石川県
- 小松市教育委員会 (2006) 額見町遺跡 I、石川県
- 小松市教育委員会 (2007) 小松市内遺跡発掘調査報告書 III. 薬師遺跡、石川県
- 小松市教育委員会 (2007) 額見町遺跡 II、石川県
- 小松市教育委員会 (2008) 額見町遺跡 III、石川県
- 小松市教育委員会 (2009) 額見町遺跡 IV、石川県
- 小松市教育委員会 (2010) 額見町遺跡 V、石川県
- 小松市教育委員会 (2011) 小松市内遺跡発掘調査報告書 VII. 矢崎宮の下遺跡、薬師遺跡 V 次、石川県
- 小松市史編纂委員会 (2001) 新修小松市史 3. 九谷焼と小松瓦、小松市、石川県
- 小松市史編纂委員会 (2002) 新修小松市史 4. 国府と荘園、小松市、石川県
- タ 辰口町教育委員会 (1982) 辰口町下開発茶臼山古墳群、石川県能美市
- 辰口町教育委員会 (1985) 辰口町湯屋古窯跡、石川県能美市
- 辰口町教育委員会 (2001) 辰口町湯屋古窯跡 III、石川県能美市
- 辰口町教育委員会 (2004) 下開発茶臼山古墳群 II、石川県能美市
- 辰口町教育委員会 (2005) 和気後山谷窯跡群、石川県能美市
- テ 寺井町教育委員会 (1997) 加賀能美古墳群、石川県能美市
- ヘ 日置 謙 (1923) 石川県能美郡誌、能美郡役所、p366-375. p642. p823. p1268-1269. p1342-1343.、石川県
- 日置 謙 (1925) 石川県江沼郡誌、江沼郡役所、p679.、石川県
- ホ 北陸中世土器研究会 編 (1997) 中・近世の北陸、桂書房、p193-208.

第二章 矢田借屋古墳群発掘調査

第1節 調査の概要

(1) 既往の調査

矢田借屋古墳群の調査史は古く、昭和25年8月、石川考古学研究会幹事だった上野與一氏の指導の下で小松高校地歴クラブが実施した2号墳及び4号墳の調査が嚆矢となる(第1次調査)。所在地は当時「矢田町ム11番地借屋」、「借屋塚」(日置1925)と呼ばれていた4号墳を含め、周辺に8基の古墳が確認されており、調査の結果、当時近隣に所在する念仏林古墳の調査で発見されたばかりだった粘土室を主体部に有する古墳として注目された。その後、周辺の農道補修工事等によって破壊の危機に直面し、昭和30年に工事の影響で墳丘の一部が損壊していた7号墳が、昭和36年には8号墳が調査された(第2・3次調査)。この区域は、小松市教育委員会(以下、市教委)が平成12年度に宅地造成計画を原因として詳細分布調査を実施したが、1～8号墳はこの時点で確認することはできず、これらとは別に12号墳と15号墳を確認した。なお、この時の造成計画は後に中止となった。

今調査に係る区域は月津町地内で「向借屋」と通称されていた。こちらは平成10年度に個人住宅建設の計画が持ち上がったときに市教委の試掘調査によって古墳の周溝を確認したことにより、緊急に発掘調査を実施(通算第4次調査とする)、9～12号墳として報告した。

上述した平成12年度の詳細分布調査をはじめとして、当時鬱蒼とした山林の状態だった当該地周辺は開発計画が複数あった模様で、平成13年度にも4筆分について市教委が発掘調査を実施(通算第5次調査とする)、確認した古墳は都合17基となった。

当該地は最終的に県営ほ場整備事業の一環で造成され、(財)石川県埋蔵文化財センターが道路予定地について発掘調査を実施し(古墳群の調査としては通算第6次)、この際に18基目の古墳の周溝が確認された。

(2) 調査に至る経緯

通算第7次となる今調査地は、平成10年度の通算第4次調査によって一部調査された区域にあたり、県営ほ場整備では埋蔵文化財保存のために抜根整地できないまま事業完了した。この影響で耕作ができない農地となっていたため、地権者4名より発掘調査を依頼された。最初に相談を受けたのは平成21年の秋であったが、未調査区域の面積は1,140㎡に及ぶためすぐには対応できず、次年度、平成22年度の国庫補助事業で予算化して対応することとした。

文化財保護法および発掘調査に係る諸手続きは地権者4名と個別に進め、平成22年4月7日付けでそれぞれ協定書を交換した。

(3) 調査の方法

調査区は、平成10年度調査を踏襲して「A地区」「B地区」とした。グリッドも同様に踏襲し、A地区は平成10年度調査時の、B地区は平成13年度調査時のものに基づいているが、原点は保存されていないため、図上の近似点(E-6)を現場で設定しているため、既往調査のグリッドとは必ずしも一致しない。グリッドは5m間隔である。

遺構の実測は、着手前に4級基準点を委託業務により設置し、これを与点として行った。今調査分については、グリッドは計算で得られた座標に基づいて図上にプロットしている。

平面図、ドットマップ及びセクションポイントは光波測距儀で得られた座標をすべて野帳に記録し、必要に応じて図化した。原図の縮尺は、平面図は50分の1、断面図は20分の1である。

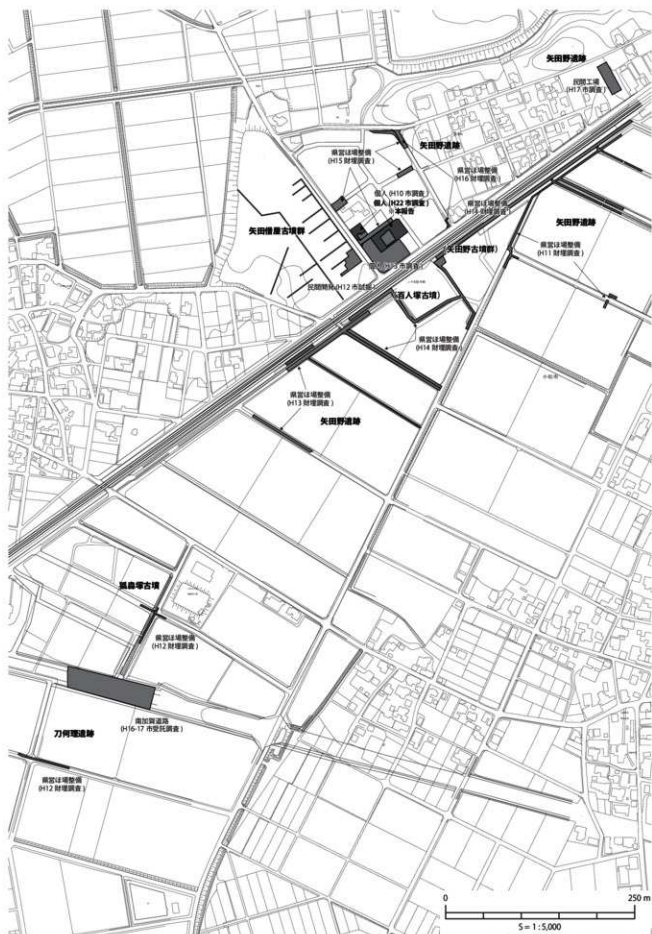


図4 矢田野借屋古墳群 調査地の位置 1

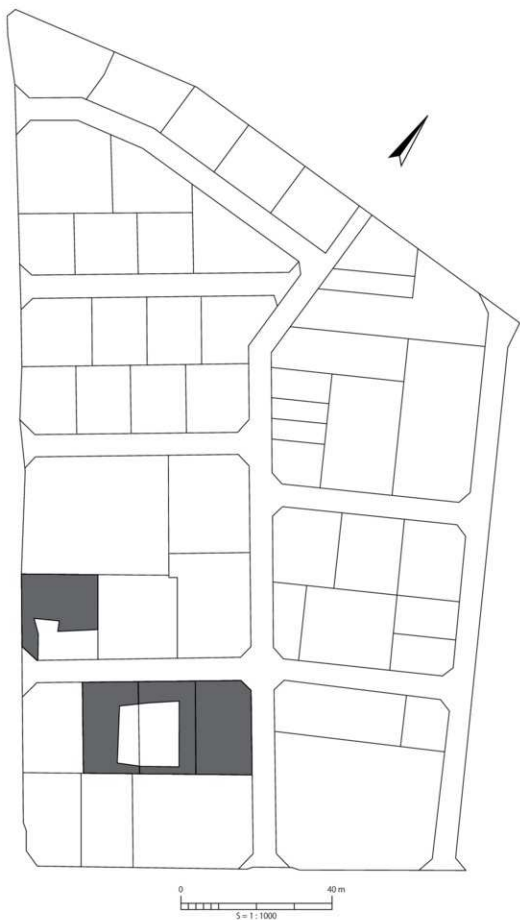


図5 矢田借屋古墳群 調査地の位置 2

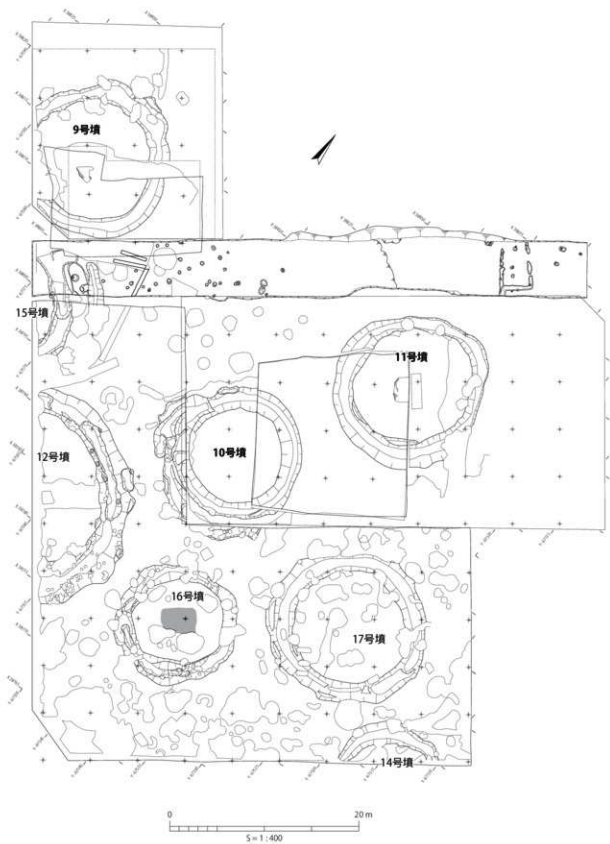


図6 矢田借屋古墳群（通算第4～7次）平面図

(4) 調査の経過

発掘調査は4月26日より着手した。重機により切株を避けながら表土を掘き取り、グリッドを設定。作業員を入れたの 본격的な作業は大型連休明けにする。

5月11日にA地区より作業開始。盛土が厚く、この掘削に10日を要した。試掘を省略したことが仇となる。

5月29日に9号墳のプランを確認し、周溝の調査を開始。遺物を検出したところでシートで養生しB地区の作業に移る。

6月5日にB地区の作業開始。10号墳は表土直下にプランが見えていた。11号墳は谷に差し掛かりやや歪なプランだが、谷底まで周溝が確認された。谷に差し掛かる周溝からは、カクランの影響で散見される以外に遺物が出土しなかった。遺物を検出して作業を中断。

7月2日、10号墳から遺物のドットマップ作成開始。実際には座標だけ野帳に記録。10日にすべての作業が終了。完掘写真撮影。

7月15日より平面図作成、7月27日に手配した空中写真撮影まで余裕があるかに思われたが、週末に豪雨に見舞われ、翌週20日から排水と復旧作業を余儀なくされた。しかし大事に至らず、空中写真も予定通り撮影され、その日のうちに撤収作業も完了した。

埋め戻しは8月2日より開始、並行して地元の生産組合の整地作業が行われ、4日に埋め戻しが完了し、現場を引き渡した。

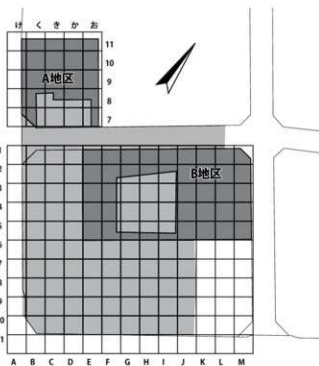


図7 矢田借屋古墳群 グリッド配点図

第2節 遺構と遺物

1 借屋9号墳の調査 (図8～14)

(1) 形態・規模

形態は円墳であり、墳丘は削平されており、高さは不明。主体部は粘土室(市教委2000)、規模は、周溝下端で測ると、直径13.2～13.5mである。

(2) 周溝 (図8～10)

幅は底面で0.5～1.0m、上面で1.4～2.5mを測る。深さは、上端から底面の深さは0.4～0.5mで、標高差では南側は北側より0.2m低い。数字では掘方が一定に思われるが、見かけ上は周溝の北側は幅広く浅く、南側が幅狭で深く見える。覆土は、下層に地山ブロックを斑状に含み、この上位の黒褐色壤土～埴壤土に遺物を包含する。

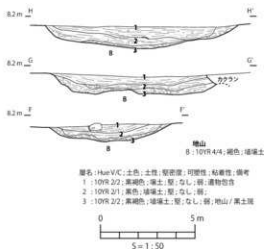


図8 借屋9号墳 周溝断面図

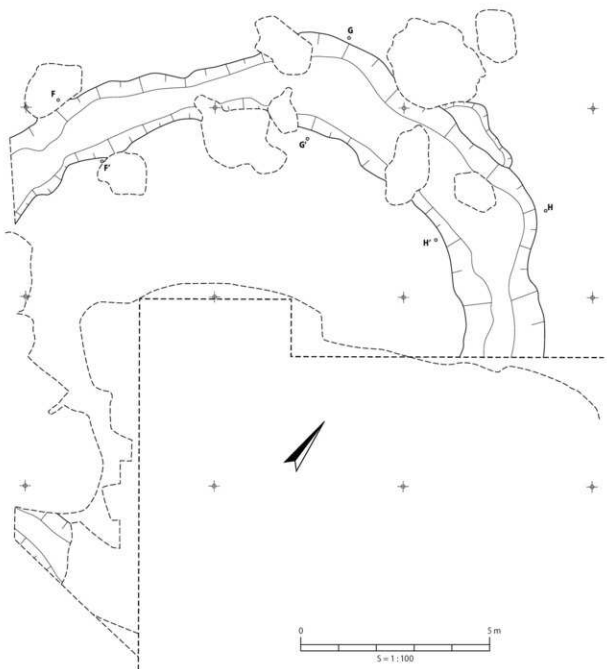


图9 借屋9号填 平面图

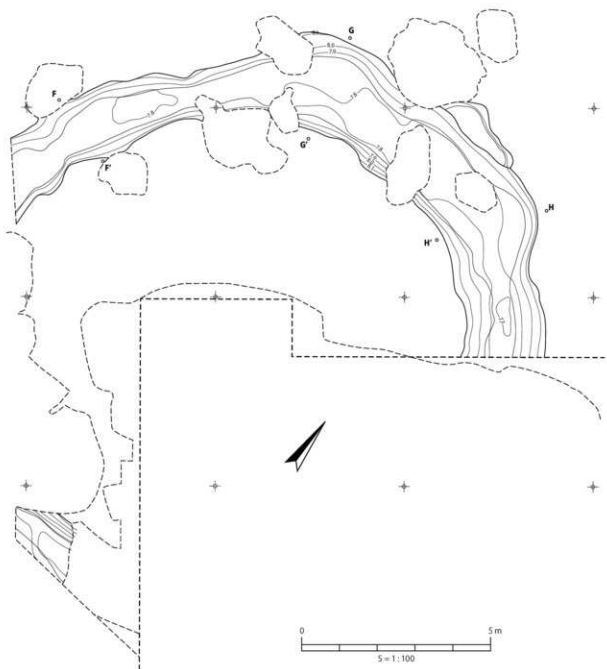


図10 借屋9号墳 周溝コンター

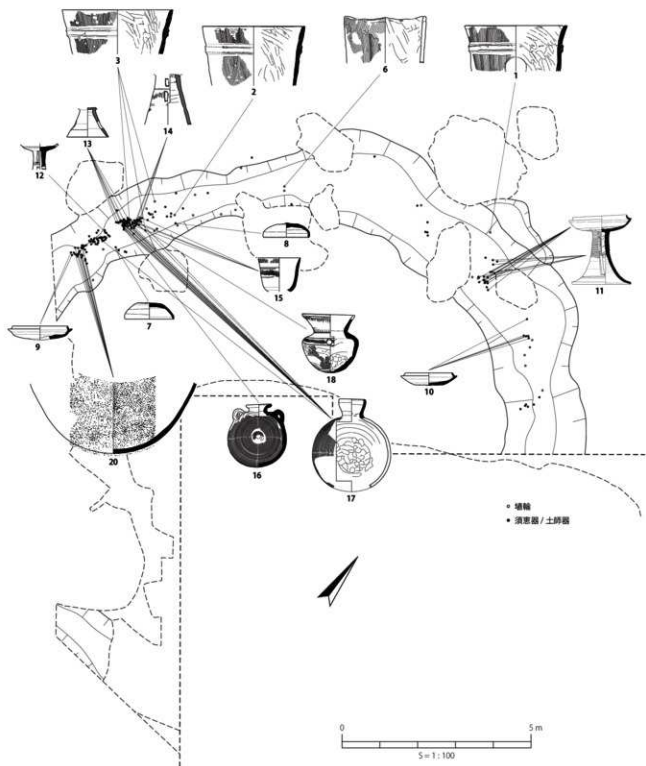


图 11 借屋 9 号墳 周溝遺物分布

(3) 遺物分布状況 (図11)

遺物は概ね周溝の西と北の2カ所で集中する傾向が見える。既報告分では3カ所に遺物の集中が確認されており、都合5カ所となる。実測図化したものはすべて須恵器であり、西側の集中箇所は、坏・高坏・提瓶・^{はら}罎・甕が見いだされ、7・8・16・18はほぼ完形での出土である。北側の集中箇所では坏と高坏が見いだされ、どちらも破片の状態で出土した。埴輪は須恵質と土師質の両者が認められ、出土位置がプロットできなかつた破片も多いが、相対的に万遍なく分布している。

(4) 周溝出土遺物 (図12～14)

埴輪 (1～6)

1～5は須恵質の普通円筒埴輪である。1を除いて、須恵質の埴輪は還元焙焼成が不良であり、胎土は橙～褐色系の酸化色を呈する。口縁端部は丁寧に調整されているが、全体の調整は、内面のナデ痕・指圧痕・接合痕が明瞭に認められるなど粗雑な印象である。なお、透かし窓は復元を考慮したものでなく、直径も正円であることを前提とした復元であり、実測図の取り扱いについて注意されたい。

6は土師質の普通円筒埴輪である。口縁部を含む接合資料は土師質では本例が唯一であり、須恵質の資料と同様に調整は粗雑で、当該資料の場合は口縁端部の調整も粗雑である。

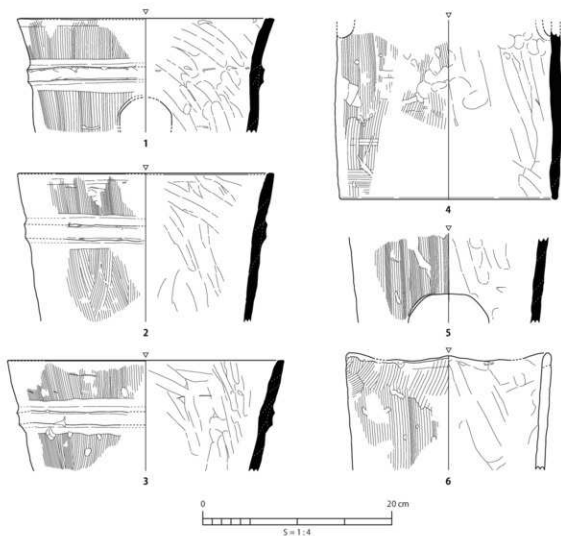


図12 借屋9号墳 出土遺物実測図1



图 13 借屋 9 号墳 出土遺物実測図 2

須恵器 (7～20)

7・8 は坏H蓋、9・10 は坏H身である。

11 は有蓋高坏である。坏部は実測の時点では坏H身としていたが、出土位置を確認したところ隣接する脚部と同一個体と考えられ、実際接合することを確認した。

12 は無蓋高坏と考えられる。

13・14 は高坏脚部である。坏部の形態は不明である。焼成が不完全であり、実測図の断面はグレーで表示した。ただ、14 については小型の器台のような器形となる可能性がある。

15 は鉢の一種と思われる。ただし、類例は管見に入らない。

16 は提瓶である。17 は耳の部分の破片が確認できず実測図にも示していないが、器形の特徴から同様に提瓶と考えられる。

18・19 は^{ほぞう}甕である。

20 は大甕の底部である。

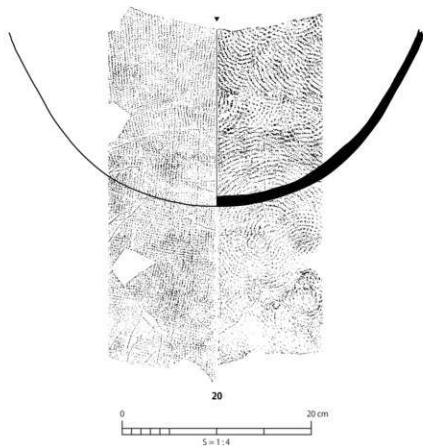


図14 借屋9号墳 出土遺物実測図3

(5) 築造年代

既報告（市教委2000）で9号墳は、周溝出土の坏H身の型式を手掛かりに陶器TK10型式期に比定された。これを在地の南加賀古窯跡群の編年に照らすと、調査報告済みの資料に限れば二ツ梨東山4号窯の資料が最も類似するといえることになるが、今調査の出土資料についてはむしろ1号窯や5号窯の資料に類似していると思われ、周溝出土資料はTK43型式期も範疇に入る。

築造年代という意味では、須恵器の編年観によってすなわち決定されるものでは必ずしもなく、本墳のような粘土室主体部の須恵器にも時期差のある資料が共存するという指摘も複数ある（北野1983など）。埴輪を伴う古墳として、あるいは粘土室を主体部に採用する古墳として、これらの属性も総合的に勘案すれば、従来の所見を逸脱するものとはならない。

2 借屋10号墳の調査（図15～20）

(1) 形態・規模

形態は円墳であり、墳丘は削平されており、高さ及び主体部は不明。規模は、周溝下端で測ると、直径11.4～11.8mである。

(2) 周溝（図15～17）

掘方は明瞭ではなく、既往調査分の平面図を合成した図6を参照すると、周溝の南半は幅狭で深い掘方の溝の外側に、幅広で浅い掘方の溝を見いだすことができる。図15のG-G'断面図を参照すると、内側の深い溝は8・9の覆土であり地山ブロックが頗る富むのが特徴的である。外側の浅い溝は6・7の覆土であり、黒褐色壤質土である。周溝出土遺物は後者がほとんどである。

(3) 遺物分布状況（図18）

遺物は調査時より大甕の胴部片が特に目立っていた。35と36は既報告（市教委2000第19図27）の資料と同一個体と思われ、当該資料片は周溝北側に広く分散しており、37も同一個体となる可能性がある。また周溝南側は、既報告（市教委2006）によって遺物の分布が僅かなことが指摘されている。

(4) 周溝出土遺物（図19・20）

須恵器（21～37）

21～23は坏H身である。

24は甕である。

25は高坏脚部であり、坏部は既報告分を含めても不明である。

26は既報告資料（市教委2006第6図1）と同型であり、装飾須恵器の装飾部である。器台に載せる器種が該当するのだろうが、直接的に特定できる所見は得られなかった。

27～29は甕である。

30は長頸瓶である。

31・32は横瓶である。

33・34は器台である。

35～37は大甕である。

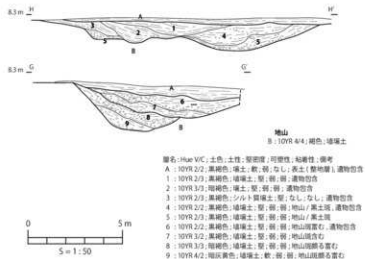


図15 借屋10号墳 周溝断面図

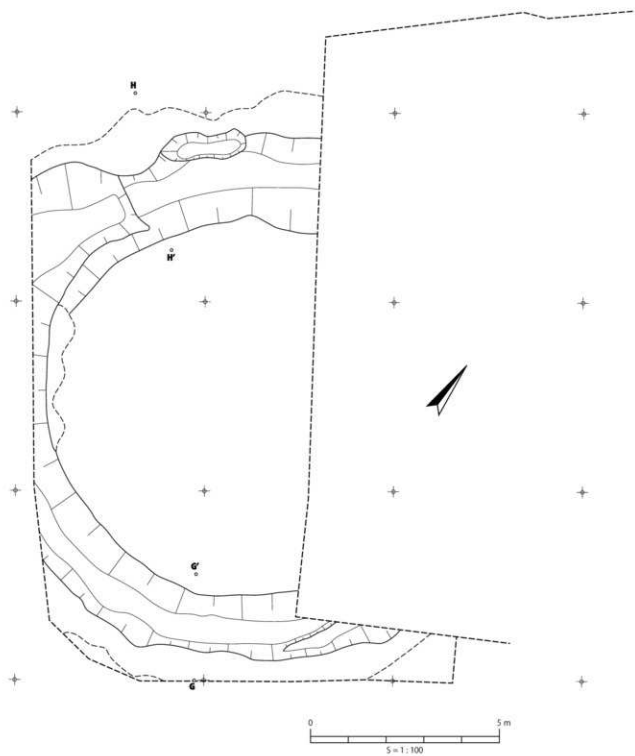


図16 借屋10号墳 平面図

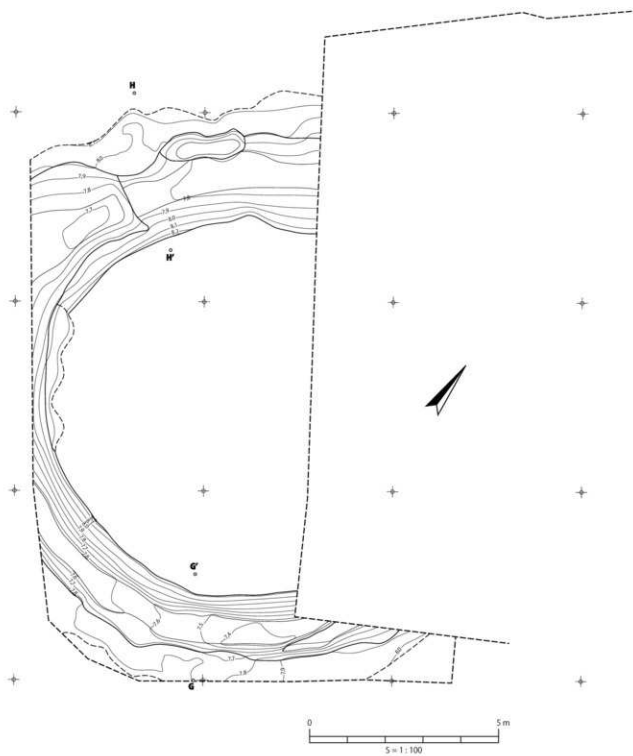


図17 借屋10号墳 周溝コンター

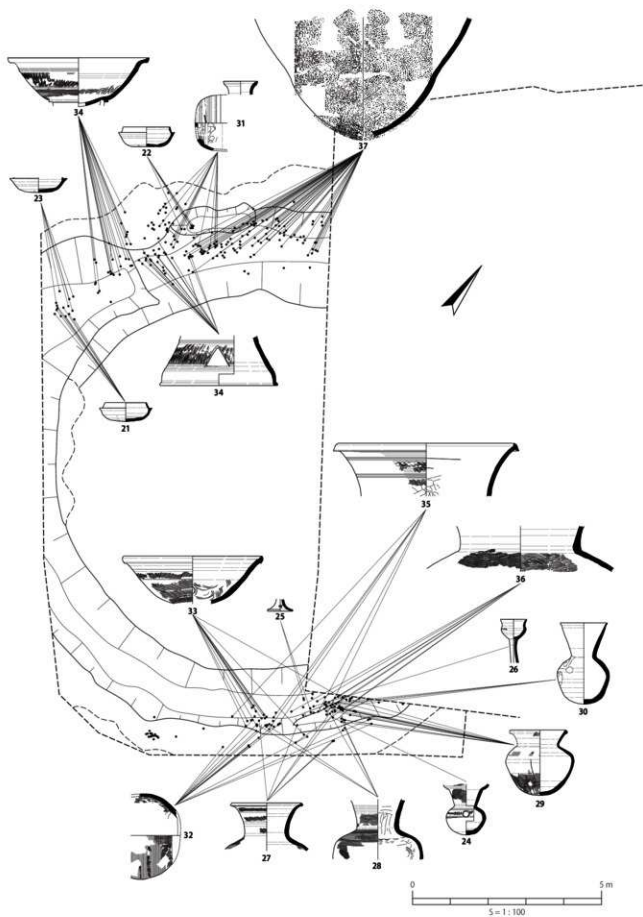


图 18 借屋 10号墳 周溝遺物分布

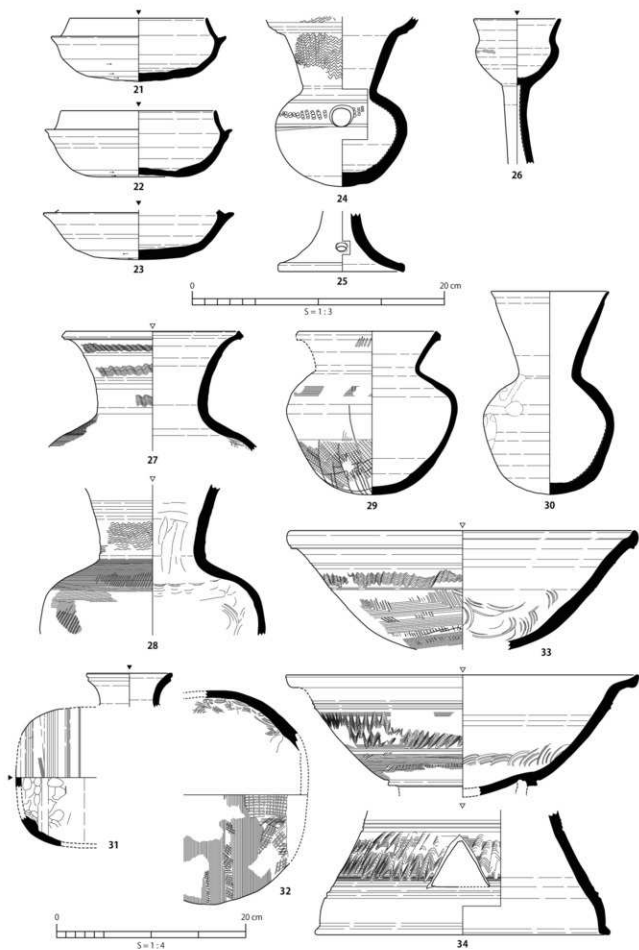


图 19 借屋 10 号填 出土遗物实测图 1

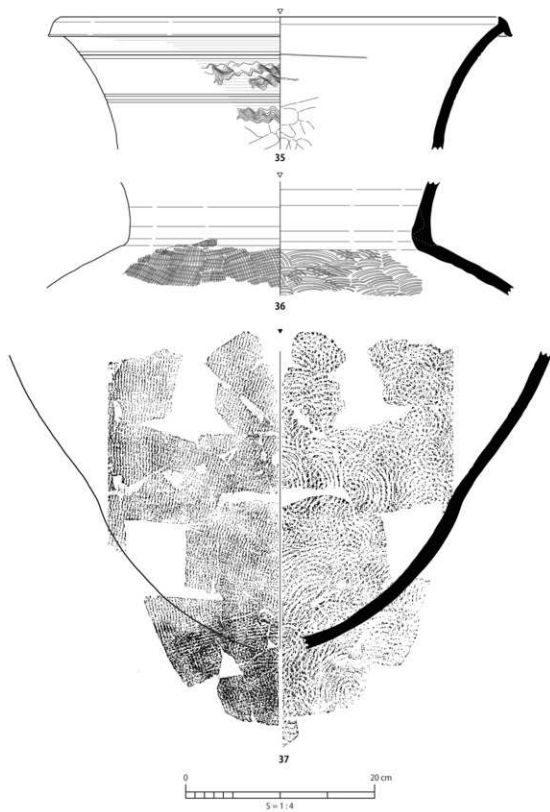


図 20 借屋 10 号墳 出土遺物実測図 2

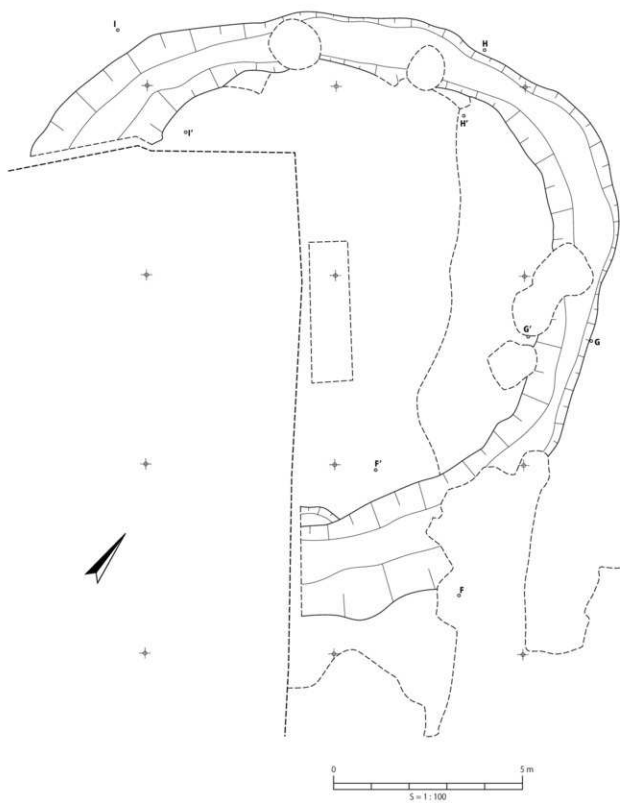
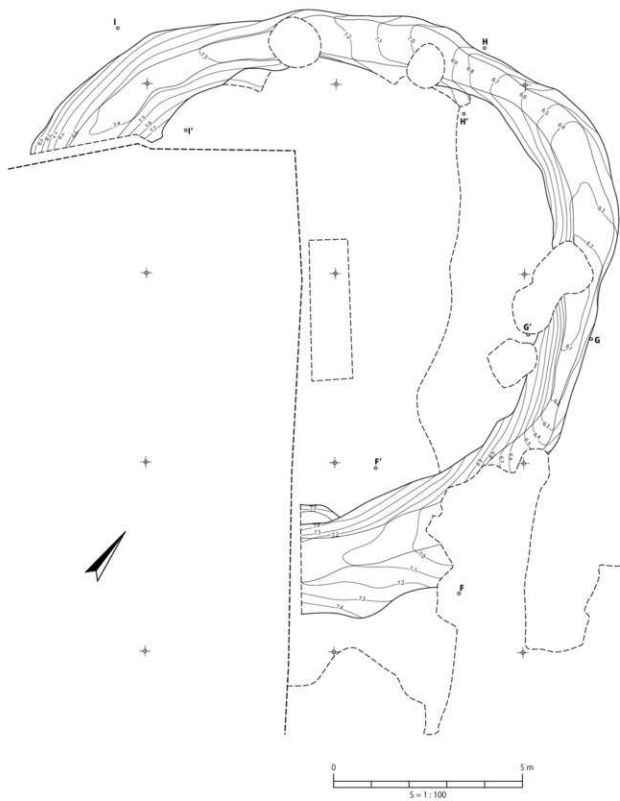


図22 借屋11号墳 平面図



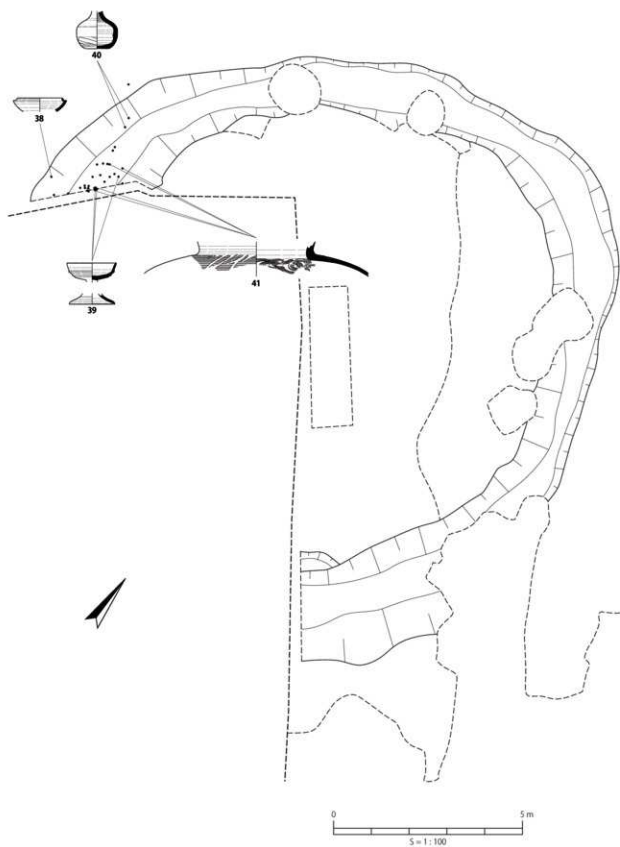


图24 借屋11号墳 周溝遺物分布

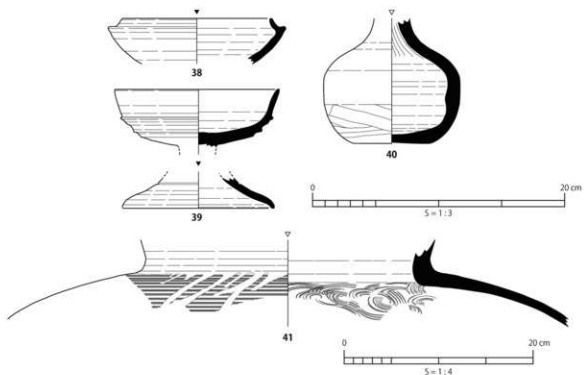


図 25 借屋 11号墳 出土遺物実測図

第 3 節 小 結

今調査は、借屋 9～11号墳の未調査部分の発掘調査となる。既報告（市教委 2000）では推定の域を出なかった墳丘の規模が確定し、9号墳は直径約 13.5m の円墳、10号墳は直径約 12m の円墳、11号墳は直径約 13m～14m のやや楕円を呈する円墳とする。また、未確認だった 10号墳の主体部は削平の影響で残存していなかったことも確認した。

今調査で新たな所見が加えられることはなかったが、既往の資料を補足するものとして活用に寄与できれば幸いである。

表2 矢田借屋古墳群 出土遺物属性表

区	番号	実測	出土位置	分類	形状	寸法/残率	表面色調	胎土色調	備考
12	1	1	9号墳西溝	埴輪(須虫貫)	普通円筒	口:27cm/0.222	2.5Y 6/2	2.5Y 6/2	
	2	2	9号墳西溝	埴輪(須虫貫)	普通円筒	口:27cm/0.111	10YR 4/1・10YR 4/2	5YR 6/4	
	3	3	9号墳西溝	埴輪(須虫貫)	普通円筒	口:29cm/0.139	7.5YR 4/2・5YR 5/3	5YR 6/4	
	4	4	A地区(9号墳)	埴輪(須虫貫)	普通円筒	底:22cm/0.222	7.5YR 4/2・7.5YR 5/2	7.5YR 5/4	
	5	5	A地区(9号墳)	埴輪(須虫貫)	普通円筒		7.5YR 4/2	7.5YR 5/4・5YR 6/4	
	6	6	9号墳西溝	埴輪(土師貫)	普通円筒	口:22cm/0.278	7.5YR 7/6・5YR 6/6	5YR 7/6	
	7	14	9号墳西溝	須虫器	杯蓋	口:13cm/1.000, 高:4.3cm	2.5Y 5/1・10YR 6/1	2.5Y 4/1	
	8	15	9号墳西溝	須虫器	杯蓋	口:12cm/0.639, 高:3.9cm	2.5Y 6/1	2.5Y 7/1	
	9	16	9号墳西溝	須虫器	杯身	口:15cm/0.889, 受:17cm/0.500	10YR 5/2・10YR 6/1	10YR 6/1	
	10	17	9号墳西溝	須虫器	杯身	口:12.5cm/0.208 受:15cm/0.389, 高:3.2cm	2.5Y 6/1・7.5Y 6/1	10Y 7/1	6c後半
13	11	18	9号墳西溝	須虫器	高杯(杯部)	口:14cm/0.778, 受:16.5cm/0.861, 杯高:4.2cm	10YR 4/1・10YR 6/1	7.5YR 5/4	
	11	11	9号墳西溝	須虫器	高杯(脚部)	胴:15cm/0.667, 脚:4.5cm/1.000, 脚高:13.8cm	10YR 6/1・10YR 6/3	10YR 6/1・10YR 6/3	
	12	12	9号墳西溝	須虫器	高杯(脚部)	脚:3.5cm/1.000	5YR 5/4・7.5YR 3/3	5YR 5/4	
	13	13	9号墳西溝	須虫器	高杯(脚部)	脚:11cm/0.194, 脚:4cm/1.000	2.5Y 8/2	2.5Y 8/1	
	14	43	9号墳西溝	須虫器	高杯(脚部)	脚:6.5cm/0.528	2.5Y 7/2・10YR 7/2	2.5Y 7/2	
	15	44	9号墳西溝	須虫器	蓋	口:11cm/0.361	2.5Y 7/1・5Y 7/1	5Y 7/1	
	16	7	9号墳西溝	須虫器	提瓶	口:6.5cm/0.500, 胴:4.5cm/1.000, 胴高:15.4cm, 胴高:14.3cm, 胴厚:8.1cm, 全高:16.8cm	2.5Y 6/2・2.5Y 4/1	2.5Y 6/2	
	17	8	9号墳西溝	須虫器	提瓶	口:7cm/1.000, 胴:5.5cm/0.500	N 3/0・N 4/0	10YR 4/1	
	18	9	9号墳西溝	須虫器	蓋	口:14cm/0.472, 胴:8.5cm/1.000, 胴:14.5cm/1.000, 全高:16.4cm	10YR 5/3・10YR 5/1	10YR 5/2・10YR 5/3	
	19	10	9号墳(カケラン)	須虫器	蓋	胴:2.5cm/1.000, 胴:9cm/1.000	10YR 6/1・10YR 6/4	10YR 7/2	6c後半
14	20	25	9号墳西溝	須虫器	大甕	10YR 7/1・10YR 6/4	10YR 7/3		
19	21	32	10号墳西溝	須虫器	杯身	口:11cm/0.069, 受:14cm/0.139, 高:5.0cm	2.5Y 5/2・2.5Y 6/1	2.5Y 6/1	
	22	33	10号墳西溝	須虫器	杯身	口:12cm/0.389, 受:14.5cm/0.528, 高:5.2cm	2.5Y 6/1・2.5Y 5/1	2.5Y 6/1	6c中
	23	34	10号墳西溝	須虫器	杯身	受:15cm/0.083	2.5Y 5/1・2.5Y 7/1	2.5Y 6/1	
	24	30	10号墳西溝	須虫器	蓋	胴:6cm/1.000, 胴:10.5cm/1.000	10R 4/2	10R 5/4	
	25	35	10号墳西溝	須虫器	高杯(脚部)	脚:6.5cm/1.000	2.5Y 5/1・N 4/0	2.5Y 6/1	
	26	38	10号墳西溝	須虫器	特殊		N 3/0・N 4/0	N 4/0	
	27	36	10号墳西溝	須虫器	甕	口:18cm/0.181, 胴:12cm/0.667	2.5Y 5/2・10YR 6/1	10YR 5/1	
	28	20	10号墳西溝	須虫器	甕	胴:11cm/0.972, 胴:24cm/0.056	10YR 4/1・7.5YR 4/1	2.5Y 5/6	6c中
	29	28	10号墳西溝	須虫器	甕	口:15cm/0.694, 胴:11cm/0.778, 胴:18cm/0.833, 全高:17.2cm	N 4/0・5Y 5/1	N 6/0	
	30	29	10号墳西溝	須虫器	長頸瓶	口:12.5cm/0.278, 胴:7cm/1.000, 胴:14cm/1.000, 全高:21.5cm	10YR 7/1	10YR 8/4	
20	31	31	10号墳西溝	須虫器	横瓶	口:9cm/0.278, 胴:6cm/0.278, 胴:14.5cm/0.167	N 4/0・5YR 5/1	5YR 6/4	
	32	26	10号墳西溝	須虫器	横瓶	胴:22cm/0.083	N 3/0・7.5YR 6/1	7.5YR 4/1	
	33	21	10号墳西溝	須虫器	瓶白(受部)	口:37cm/0.361, 受高:12.5cm	N 3/0・10YR 4/1	10YR 5/1	
	34	22	10号墳西溝	須虫器	瓶白(受部)	口:37cm/0.278, 受高:11.0cm	N 4/0・10YR 5/1	10YR 5/1	
	35	19	10号墳西溝	須虫器	大甕	口:46cm/0.222	2.5Y 5/1・2.5Y 3/1	5YR 4/2	6c中
	36	37	10号墳西溝	須虫器	大甕	胴:32cm/0.222	2.5YR 4/1・10YR 4/1	10YR 4/1	
	23	23	10号墳西溝	須虫器	大甕		2.5Y 5/1・2.5Y 4/1	2.5Y 4/1	
	24	24	10号墳西溝	須虫器	大甕		2.5Y 5/1・2.5Y 7/2	2.5Y 4/1	
	38	41	11号墳西溝	須虫器	杯身	口:12cm/0.111, 受:14cm/0.194	10YR 6/1・10YR 7/2	10YR 6/4	
	25	39	40	11号墳西溝	須虫器	高杯(杯部)	口:13cm/0.583	10YR 5/1・10YR 6/1	10YR 7/3
40		41	11号墳西溝	須虫器	高杯(脚部)	胴:12cm/0.222	10YR 5/1・10YR 6/1	10YR 7/3	
40		39	11号墳西溝	須虫器	長頸瓶	胴:11cm/0.500	10YR 5/1・10YR 6/2	10YR 6/1	
41		42	11号墳西溝	須虫器	大甕	胴:30cm/0.250	10YR 7/1	10YR 7/2	

表3 借屋9号墳 出土遺物プロットデータ

発掘区	No.	種類	実測	X	Y	H	遺物	No.	種類	実測	X	Y	H	遺物	No.	種類	実測	X	Y	H
9号墳	1	土器 磁器	27	38846362	67384470	8309	9号墳	74	土器 磁器	38845127	67384700	8309	9号墳	147	土器 磁器	38845881	67384803	7911		
9号墳	2	土器 磁器	32	38846730	67384462	8306	9号墳	75	土器 磁器	38846778	67384700	8303	9号墳	148	土器 磁器	38846778	67384700	7911		
9号墳	3	土器 磁器	14	38845277	67384413	8119	9号墳	76	土器 磁器	38846796	67384700	7981	9号墳	149	土器 磁器	38846927	67384612	7905		
9号墳	4	土器 磁器	15	38847436	67384257	8043	9号墳	77	土器 磁器	38848747	67384707	7993	9号墳	150	土器 磁器	38844923	67384103	7805		
9号墳	5	土器 磁器	16	38845154	67385006	8012	9号墳	78	土器 磁器	38846740	67384605	7993	9号墳	151	土器 磁器	38846960	67384111	7805		
9号墳	6	土器 磁器	16	38845119	67384843	8005	9号墳	79	土器 磁器	38846351	67383975	8059	9号墳	152	土器 磁器	38847223	67384393	7906		
9号墳	7	土器 磁器	23	38845187	67384699	7952	9号墳	80	土器 磁器	38846423	67384119	8005	9号墳	153	土器 磁器	38847253	67384393	7905		
9号墳	8	土器 磁器	8	38845126	67384686	7974	9号墳	81	土器 磁器	38846304	67384376	8005	9号墳	154	土器 磁器	38847203	67384383	7906		
9号墳	9	土器 磁器	25	38845277	67384432	8006	9号墳	82	土器 磁器	38847023	67384356	8037	9号墳	155	土器 磁器	38847220	67384355	7806		
9号墳	10	土器 磁器	25	38845433	67384814	7975	9号墳	83	土器 磁器	38846355	67384583	8007	9号墳	156	土器 磁器	38844927	67373011	8007		
9号墳	11	土器 磁器	48	38845467	67384887	7999	9号墳	84	土器 磁器	38847283	67384109	7964	9号墳	157	土器 磁器	38844944	67372861	7975		
9号墳	12	土器 磁器	38	38845348	67384833	8009	9号墳	85	土器 磁器	38847368	67384103	7922	9号墳	158	土器 磁器	38843178	67372866	8008		
9号墳	13	土器 磁器	38	38845353	67384790	8015	9号墳	86	土器 磁器	38847356	67383927	7986	9号墳	159	土器 磁器	38843139	67372866	8008		
9号墳	14	土器 磁器	38	38845400	67384803	8005	9号墳	87	土器 磁器	38847420	67383181	8039	9号墳	160	土器 磁器	38843303	67372801	7934		
9号墳	15	土器 磁器	38	38845739	67384791	8013	9号墳	88	土器 磁器	38848347	67383299	7954	9号墳	161	土器 磁器	38843547	67372799	7934		
9号墳	16	土器 磁器	38	38845653	67384739	8023	9号墳	89	土器 磁器	38849443	67382733	7989	9号墳	162	土器 磁器	38843740	67372843	7938		
9号墳	17	土器 磁器	38	38845764	67384876	8014	9号墳	90	土器 磁器	38849206	67382687	8038	9号墳	163	土器 磁器	38843990	67373356	7984		
9号墳	18	土器 磁器	38	38845717	67384723	8016	9号墳	91	土器 磁器	38849358	67381808	8063	9号墳	164	土器 磁器	38849209	67373790	7985		
9号墳	19	土器 磁器	38	38845828	67384733	8020	9号墳	92	土器 磁器	38849345	67381541	8061	9号墳	165	土器 磁器	38849449	67373790	7985		
9号墳	20	土器 磁器	38	38845849	67384639	8014	9号墳	93	土器 磁器	38849353	67381474	8061	9号墳	166	土器 磁器	38849661	67374289	8003		
9号墳	21	土器 磁器	38	38845880	67384616	8011	9号墳	94	土器 磁器	38849381	67381397	8086	9号墳	167	土器 磁器	38849690	67374289	7923		
9号墳	22	土器 磁器	38	38845888	67384679	8005	9号墳	95	土器 磁器	38849422	67381273	8060	9号墳	168	土器 磁器	38849626	67374409	7925		
9号墳	23	土器 磁器	38	38845739	67384809	8012	9号墳	96	土器 磁器	38849352	67381186	8101	9号墳	169	土器 磁器	38849629	67373913	8007		
9号墳	24	土器 磁器	38	38845749	67384937	7988	9号墳	97	土器 磁器	38849201	67381039	7933	9号墳	170	土器 磁器	38849640	67373861	7948		
9号墳	25	土器 磁器	38	38845793	67384588	7993	9号墳	98	土器 磁器	38849163	67381026	7956	9号墳	171	土器 磁器	38849698	67373831	7938		
9号墳	26	土器 磁器	38	38845891	67384775	7988	9号墳	99	土器 磁器	38849120	67381031	8025	9号墳	172	土器 磁器	38849944	67374201	7938		
9号墳	27	土器 磁器	38	38849054	67384779	7988	9号墳	100	土器 磁器	38849120	67381031	8025	9号墳	173	土器 磁器	38849923	67374261	7943		
9号墳	28	土器 磁器	8	38845889	67384734	8002	9号墳	101	土器 磁器	38849120	67381031	8025	9号墳	174	土器 磁器	38849923	67374261	7943		
9号墳	29	土器 磁器	8	38845365	67384616	8006	9号墳	102	土器 磁器	38849120	67381031	8025	9号墳	175	土器 磁器	38849923	67374261	7943		
9号墳	30	土器 磁器	8	38845027	67384568	8006	9号墳	103	土器 磁器	38849120	67381031	8025	9号墳	176	土器 磁器	38849923	67374261	7943		
9号墳	31	土器 磁器	8	38845930	67384703	7997	9号墳	104	土器 磁器	38849120	67381031	8025	9号墳	177	土器 磁器	38849923	67374261	7943		
9号墳	32	土器 磁器	8	38849024	67384703	7990	9号墳	105	土器 磁器	38849120	67381031	8025	9号墳	178	土器 磁器	38849923	67374261	7943		
9号墳	33	土器 磁器	8	38848161	67384731	7987	9号墳	106	土器 磁器	38849120	67381031	8025	9号墳	179	土器 磁器	38849923	67374261	7943		
9号墳	34	土器 磁器	8	38849628	67384765	7984	9号墳	107	土器 磁器	38849120	67381031	8025	9号墳	180	土器 磁器	38849923	67374261	7943		
9号墳	35	土器 磁器	12	38846114	67384691	7981	9号墳	108	土器 磁器	38849120	67381031	8025	9号墳	181	土器 磁器	38849923	67374261	7943		
9号墳	36	土器 磁器	16	38845362	67384832	8129	9号墳	109	土器 磁器	38849120	67381031	8025	9号墳	182	土器 磁器	38849923	67374261	7943		
9号墳	37	土器 磁器	18	38846021	67384806	8139	9号墳	110	土器 磁器	38849120	67381031	8025	9号墳	183	土器 磁器	38849923	67374261	7943		
9号墳	38	土器 磁器	18	38845861	67384833	8127	9号墳	111	土器 磁器	38849120	67381031	8025	9号墳	184	土器 磁器	38849923	67374261	7943		
9号墳	39	土器 磁器	18	38845839	67384862	7975	9号墳	112	土器 磁器	38849120	67381031	8025	9号墳	185	土器 磁器	38849923	67374261	7943		
9号墳	40	土器 磁器	13	38846397	67384857	8021	9号墳	113	土器 磁器	38849120	67381031	8025	9号墳	186	土器 磁器	38849923	67374261	7943		
9号墳	41	土器 磁器	13	38846363	67384861	8013	9号墳	114	土器 磁器	38849120	67381031	8025	9号墳	187	土器 磁器	38849923	67374261	7943		
9号墳	42	土器 磁器	18	38846019	67384899	8033	9号墳	115	土器 磁器	38849120	67381031	8025	9号墳	188	土器 磁器	38849923	67374261	7943		
9号墳	43	土器 磁器	18	38846071	67384924	8027	9号墳	116	土器 磁器	38849120	67381031	8025	9号墳	189	土器 磁器	38849923	67374261	7943		
9号墳	44	土器 磁器	8	38846790	67384913	8018	9号墳	117	土器 磁器	38849120	67381031	8025	9号墳	190	土器 磁器	38849923	67374261	7943		
9号墳	45	土器 磁器	8	38846012	67384933	8022	9号墳	118	土器 磁器	38849120	67381031	8025	9号墳	191	土器 磁器	38849923	67374261	7943		
9号墳	46	土器 磁器	8	38848168	67384839	8033	9号墳	119	土器 磁器	38849120	67381031	8025	9号墳	192	土器 磁器	38849923	67374261	7943		
9号墳	47	土器 磁器	8	38846326	67384899	8036	9号墳	120	土器 磁器	38849120	67381031	8025	9号墳	193	土器 磁器	38849923	67374261	7943		
9号墳	48	土器 磁器	13	38846071	67384924	8027	9号墳	121	土器 磁器	38849120	67381031	8025	9号墳	194	土器 磁器	38849923	67374261	7943		
9号墳	49	土器 磁器	8	38846332	67384907	8005	9号墳	122	土器 磁器	38849120	67381031	8025	9号墳	195	土器 磁器	38849923	67374261	7943		
9号墳	50	土器 磁器	8	38846229	67384934	8007	9号墳	123	土器 磁器	38849120	67381031	8025	9号墳	196	土器 磁器	38849923	67374261	7943		
9号墳	51	土器 磁器	8	38846611	67384943	7998	9号墳	124	土器 磁器	38849120	67381031	8025	9号墳	197	土器 磁器	38849923	67374261	7943		
9号墳	52	土器 磁器	8	38846349	67384950	7997	9号墳	125	土器 磁器	38849120	67381031	8025	9号墳	198	土器 磁器	38849923	67374261	7943		
9号墳	53	土器 磁器	8	38846163	67384933	8006	9号墳	126	土器 磁器	38849120	67381031	8025	9号墳	199	土器 磁器	38849923	67374261	7943		
9号墳	54	土器 磁器	8	38845845	67384927	8004	9号墳	127	土器 磁器	38849120	67381031	8025	9号墳	200	土器 磁器	38849923	67374261	7943		
9号墳	55	土器 磁器	8	38846356	67384927	7999	9号墳	128	土器 磁器	38849120	67381031	8025	9号墳	201	土器 磁器	38849923	67374261	7943		
9号墳	56	土器 磁器	8	38846211	67384920	8003	9号墳	129	土器 磁器	38849120	67381031	8025	9号墳	202	土器 磁器	38849923	67374261	7943		
9号墳	57	土器 磁器	8	38846480	67384933	7999	9号墳	130	土器 磁器	38849120	67381031	8025	9号墳	203	土器 磁器	38849923	67374261	7943		
9号墳	58	土器 磁器	8	38846163	67384933	8006	9号墳	131	土器 磁器	38849120	67381031	8025	9号墳	204	土器 磁器	38849923	67374261	7943		
9号墳	59	土器 磁器	8	38846690	67384933	8003	9号墳	132	土器 磁器	38849120	67381031	8025	9号墳	205	土器 磁器	38849923	67374261	7943		
9号墳	60	土器 磁器	13	38846786	67384936	8000	9号墳	133	土器 磁器	38849120	67381031	8025	9号墳	206	土器 磁器	38849923	67374261	7943		
9号墳	61	土器 磁器	84	38846611	67384915	8034	9号墳	134	土器 磁器	38849120	67381031	8025	9号墳	207	土器 磁器	38849923	67374261	7943		
9号墳	62	土器 磁器	44	38846754	67384929	8054	9号墳	135	土器 磁器	38849120	67381031	8025	9号墳	208	土器 磁器	38849923	67374261	7943		
9号墳	63	土器 磁器	8	38846071	67384924	8027	9号墳	136	土器 磁器	38849120	67381031	8025	9号墳	209	土器 磁器	38849923	6			

図号	No	形状	実測	X	Y	面積	No	形状	実測	X	Y	面積	No	形状	実測	X	Y	面積	
10号地 25	線形	線形	27	38.00146	67.552099	7.062	10号地 116	線形	線形	38.00350	67.550478	8.058	10号地 207	線形	線形	28	38.00178	67.54272	7.071
10号地 26	線形	線形	27	38.00121	67.552099	7.062	10号地 117	線形	線形	38.00378	67.551039	8.055	10号地 208	線形	線形	28	38.00280	67.54230	8.073
10号地 27	線形	線形	27	38.00118	67.552099	7.062	10号地 118	線形	線形	38.00378	67.550727	8.055	10号地 209	線形	線形	28	38.00280	67.54230	8.073
10号地 28	線形	線形	27	38.00140	67.552334	8.010	10号地 119	線形	線形	38.00378	67.550474	8.055	10号地 210	線形	線形	28	38.00178	67.54272	7.071
10号地 29	線形	線形	27	38.00135	67.552335	8.012	10号地 120	線形	線形	38.00352	67.550580	7.968	10号地 211	線形	線形	28	38.00300	67.54273	7.915
10号地 30	線形	線形	27	38.00126	67.552335	8.012	10号地 121	線形	線形	38.00352	67.550485	8.057	10号地 212	線形	線形	28	38.00280	67.54284	8.071
10号地 31	線形	線形	27	38.00126	67.552335	8.012	10号地 122	線形	線形	38.00342	67.550580	8.055	10号地 213	線形	線形	28	38.00280	67.54284	8.071
10号地 32	線形	線形	27	38.00175	67.552340	8.048	10号地 123	線形	線形	38.00352	67.550580	8.055	10号地 214	線形	線形	28	38.00280	67.54284	8.071
10号地 33	線形	線形	27	38.00162	67.552444	8.095	10号地 124	線形	線形	38.00381	67.550640	8.054	10号地 215	線形	線形	28	38.00280	67.54284	8.071
10号地 34	線形	線形	27	38.00162	67.552444	8.095	10号地 125	線形	線形	38.00358	67.550548	8.063	10号地 216	線形	線形	28	38.00300	67.54284	8.071
10号地 35	線形	線形	27	38.00162	67.552444	8.095	10号地 126	線形	線形	38.00387	67.550484	8.059	10号地 217	線形	線形	28	38.00300	67.54284	8.071
10号地 36	線形	線形	27	38.00151	67.552502	7.997	10号地 127	線形	線形	38.00352	67.550578	7.955	10号地 218	線形	線形	28	38.00280	67.54284	8.071
10号地 37	線形	線形	27	38.00161	67.552564	7.973	10号地 128	線形	線形	38.00356	67.550548	8.060	10号地 219	線形	線形	28	38.00300	67.54284	8.071
10号地 38	線形	線形	27	38.00070	67.552533	8.017	10号地 129	線形	線形	38.00362	67.550485	8.022	10号地 220	線形	線形	28	38.00280	67.54284	8.071
10号地 39	線形	線形	27	38.00174	67.552532	8.017	10号地 130	線形	線形	38.00415	67.550751	8.077	10号地 221	線形	線形	28	38.00280	67.54284	8.071
10号地 40	線形	線形	27	38.00002	67.552607	7.997	10号地 131	線形	線形	38.00412	67.550368	8.054	10号地 222	線形	線形	28	38.00280	67.54284	8.071
10号地 41	線形	線形	27	38.00065	67.552700	7.984	10号地 132	線形	線形	38.00420	67.550520	8.055	10号地 223	線形	線形	28	38.00300	67.54284	8.071
10号地 42	線形	線形	27	38.00068	67.552811	7.952	10号地 133	線形	線形	38.00424	67.550441	8.064	10号地 224	線形	線形	28	38.00280	67.54284	8.071
10号地 43	線形	線形	27	38.00065	67.552807	8.017	10号地 134	線形	線形	38.00383	67.550279	8.045	10号地 225	線形	線形	28	38.00280	67.54284	8.071
10号地 44	線形	線形	27	38.00026	67.552702	8.017	10号地 135	線形	線形	38.00385	67.549968	8.058	10号地 226	線形	線形	28	38.00300	67.54284	8.071
10号地 45	線形	線形	27	38.00031	67.552811	7.915	10号地 136	線形	線形	38.00386	67.549919	8.059	10号地 227	線形	線形	28	38.00300	67.54284	8.071
10号地 46	線形	線形	34	38.00036	67.552708	7.914	10号地 137	線形	線形	38.00343	67.549835	8.013	10号地 228	線形	線形	28	38.00300	67.54284	8.071
10号地 47	線形	線形	34	38.00021	67.552718	7.909	10号地 138	線形	線形	38.00383	67.549824	8.009	10号地 229	線形	線形	28	38.00280	67.54284	8.071
10号地 48	線形	線形	34	38.00034	67.552323	7.941	10号地 139	線形	線形	38.00308	67.549806	8.106	10号地 230	線形	線形	28	38.00280	67.54284	8.071
10号地 49	線形	線形	34	38.00031	67.550347	7.913	10号地 140	線形	線形	38.00345	67.549738	7.914	10号地 231	線形	線形	28	38.00280	67.54284	8.071
10号地 50	線形	線形	34	38.00036	67.550342	7.909	10号地 141	線形	線形	38.00420	67.549721	8.008	10号地 232	線形	線形	27	38.00216	67.54136	8.026
10号地 51	線形	線形	22	38.00060	67.550307	8.021	10号地 142	線形	線形	38.00422	67.549739	8.008	10号地 233	線形	線形	27	38.00280	67.54284	8.071
10号地 52	線形	線形	22	38.00060	67.550307	8.021	10号地 143	線形	線形	38.00420	67.549739	8.008	10号地 234	線形	線形	27	38.00280	67.54284	8.071
10号地 53	線形	線形	22	38.00040	67.552871	8.028	10号地 144	線形	線形	38.00405	67.549629	8.017	10号地 235	線形	線形	28	38.00280	67.54284	8.071
10号地 54	線形	線形	22	38.00043	67.550300	8.036	10号地 145	線形	線形	38.00439	67.550022	8.064	10号地 236	線形	線形	28	38.00280	67.54284	8.071
10号地 55	線形	線形	22	38.00061	67.550307	8.021	10号地 146	線形	線形	38.00438	67.550008	8.057	10号地 237	線形	線形	28	38.00280	67.54284	8.071
10号地 56	線形	線形	22	38.00040	67.550306	8.111	10号地 147	線形	線形	38.00439	67.550008	8.057	10号地 238	線形	線形	28	38.00280	67.54284	8.071
10号地 57	線形	線形	22	38.00040	67.550306	8.111	10号地 148	線形	線形	38.00428	67.549971	8.054	10号地 239	線形	線形	28	38.00280	67.54284	8.071
10号地 58	線形	線形	22	38.00062	67.552719	7.993	10号地 149	線形	線形	38.00434	67.549816	8.101	10号地 240	線形	線形	28	38.00280	67.54284	8.071
10号地 59	線形	線形	22	38.00074	67.552730	7.948	10号地 150	線形	線形	38.00434	67.549816	8.101	10号地 241	線形	線形	28	38.00280	67.54284	8.071
10号地 60	線形	線形	38.00114	67.552303	8.021	10号地 151	線形	線形	38.00506	67.549903	8.107	10号地 242	線形	線形	28	38.00280	67.54284	8.071	
10号地 61	線形	線形	38.00249	67.552306	8.021	10号地 152	線形	線形	38.00427	67.549936	7.983	10号地 243	線形	線形	28	38.00280	67.54284	8.071	
10号地 62	線形	線形	38.00028	67.552787	8.122	10号地 153	線形	線形	38.00428	67.549936	8.022	10号地 244	線形	線形	28	38.00280	67.54284	8.071	
10号地 63	線形	線形	33	38.00248	67.551946	8.113	10号地 154	線形	線形	38.00426	67.549515	7.914	10号地 245	線形	線形	28	38.00280	67.54284	8.071
10号地 64	線形	線形	38.00287	67.551963	8.025	10号地 155	線形	線形	38.00426	67.549515	7.914	10号地 246	線形	線形	28	38.00280	67.54284	8.071	
10号地 65	線形	線形	33	38.00282	67.551766	8.039	10号地 156	線形	線形	38.00427	67.549510	7.907	10号地 247	線形	線形	28	38.00280	67.54284	8.071
10号地 66	線形	線形	33	38.00282	67.551748	8.039	10号地 157	線形	線形	38.00449	67.549524	7.964	10号地 248	線形	線形	28	38.00280	67.54284	8.071
10号地 67	線形	線形	33	38.00285	67.551674	8.036	10号地 158	線形	線形	38.00449	67.549524	7.964	10号地 249	線形	線形	28	38.00280	67.54284	8.071
10号地 68	線形	線形	33	38.00284	67.551729	8.041	10号地 159	線形	線形	38.00483	67.549525	7.958	10号地 250	線形	線形	28	38.00280	67.54284	8.071
10号地 69	線形	線形	33	38.00282	67.551707	8.036	10号地 160	線形	線形	38.00457	67.549481	7.943	10号地 251	線形	線形	28	38.00280	67.54284	8.071
10号地 70	線形	線形	23	38.00260	67.551355	8.059	10号地 161	線形	線形	38.00440	67.549500	7.966	10号地 252	線形	線形	28	38.00280	67.54284	8.071
10号地 71	線形	線形	24	38.00252	67.551409	8.104	10号地 162	線形	線形	38.00434	67.549510	8.020	10号地 253	線形	線形	28	38.00280	67.54284	8.071
10号地 72	線形	線形	24	38.00245	67.551423	8.075	10号地 163	線形	線形	38.00434	67.549510	8.020	10号地 254	線形	線形	28	38.00280	67.54284	8.071
10号地 73	線形	線形	24	38.00242	67.551424	8.076	10号地 164	線形	線形	38.00438	67.549585	8.023	10号地 255	線形	線形	28	38.00280	67.54284	8.071
10号地 74	線形	線形	24	38.00252	67.551484	8.099	10号地 165	線形	線形	38.00436	67.549585	8.042	10号地 256	線形	線形	28	38.00280	67.54284	8.071
10号地 75	線形	線形	24	38.00246	67.551356	8.096	10号地 166	線形	線形	38.00429	67.549601	7.983	10号地 257	線形	線形	28	38.00280	67.54284	8.071
10号地 76	線形	線形	24	38.00253	67.551327	8.096	10号地 167	線形	線形	38.00476	67.549628	7.983	10号地 258	線形	線形	28	38.00280	67.54284	8.071
10号地 77	線形	線形	24	38.00247	67.551287	8.094	10号地 168	線形	線形	38.00383	67.550478	8.058	10号地 259	線形	線形	28	38.00280	67.54284	8.071
10号地 78	線形	線形	23	38.00172	67.551023	8.058	10号地 169	線形	線形	38.00312	67.550738	8.053	10号地 260	線形	線形	28	38.00280	67.54284	8.071
10号地 79	線形	線形	24	38.00249	67.551118	8.115	10号地 170	線形	線形	38.00278	67.550854	8.120	10号地 261	線形	線形	28	38.00280	67.54284	8.071
10号地 80	線形	線形	24	38.00242	67.551189	8.107	10号地 171	線形	線形	38.00278	67.550854	8.061	10号地 262	線形	線形	28	38.00280	67.54284	8.071
10号地 81	線形	線形	24	38.00254	67.551189	8.107	10号地 172	線形	線形	38.00297	67.551065	8.104	10号地 263	線形	線形	28	38.00280	67.54284	8.071
10号地 82	線形	線形	24	38.00247	67.551287	8.122	10号地 173	線形	線形	38.00273	67.551065	8.054	10号地 264	線形	線形	28	38.00280	67.54284	8.071
10号地 83	線形	線形	24	38.00247	67.551189														

遺構 No.	種類	形状	X	Y	H	遺構 No.	種類	形状	X	Y	H	遺構 No.	種類	形状	X	Y	H
10号墳 208	埋葬	円形	38795417	67540914	7.818	10号墳 314	埋葬	円形	38792447	67543535	7.817	10号墳 330	埋葬	円形	38799007	67533317	7.776
10号墳 209	埋葬	円形	38794208	67541038	7.828	10号墳 315	埋葬	円形	38801889	67551120	8.108	10号墳 331	埋葬	円形	38802742	67532346	8.090
10号墳 200	埋葬	円形	38794889	67541331	7.809	10号墳 316	埋葬	円形	38801922	67552709	8.177	10号墳 332	埋葬	円形	38802326	67532470	8.038
10号墳 201	埋葬	円形	38794874	67541294	7.816	10号墳 317	埋葬	円形	38802633	67553680	8.138	10号墳 333	埋葬	円形	38802587	67532316	8.132
10号墳 202	埋葬	円形	38794890	67541375	7.790	10号墳 318	埋葬	楕円形	38802702	67552701	8.163	10号墳 334	埋葬	円形	38802628	67532320	8.124
10号墳 203	埋葬	円形	38796136	67539730	8.022	10号墳 319	埋葬	円形	38799096	67553470	7.823	10号墳 335	埋葬	楕円形	38802120	67551822	8.038
10号墳 204	埋葬	円形	38795790	67540244	7.846	10号墳 200	埋葬	円形	38790110	67552303	7.862	10号墳 336	埋葬	楕円形	38802120	67551823	8.128
10号墳 205	埋葬	楕円形	38795678	67540337	8.098	10号墳 321	埋葬	円形	38798809	67552326	7.884	10号墳 337	埋葬	円形	38802314	67551823	8.123
10号墳 206	埋葬	円形	38795558	67540323	7.979	10号墳 322	埋葬	円形	38798860	67553118	7.903	10号墳 338	埋葬	円形	38801883	67552365	8.041
10号墳 207	1.埋葬	円形	38795454	67540388	7.825	10号墳 323	埋葬	円形	38799066	67552977	7.831	10号墳 339	埋葬	円形	38802628	67552364	8.099
10号墳 208	埋葬	円形	38795325	67541096	7.830	10号墳 324	埋葬	円形	38799098	67552780	7.847	10号墳 340	埋葬	円形	38802365	67552348	8.032
10号墳 209	埋葬	円形	38793282	67542489	7.556	10号墳 325	埋葬	円形	38802143	67551460	8.037	10号墳 341	埋葬	楕円形	38802373	67552080	8.038
10号墳 210	埋葬	円形	38793375	67542483	7.599	10号墳 326	埋葬	円形	38799051	67552369	7.865	10号墳 342	埋葬	楕円形	38802303	67551829	8.052
10号墳 311	埋葬	円形	38790351	67542440	7.515	10号墳 327	埋葬	円形	38798953	67553308	7.876	10号墳 343	埋葬	円形	38802611	67552365	7.835
10号墳 312	埋葬	円形	38790385	67542318	7.542	10号墳 328	埋葬	円形	38798962	67553015	7.862	10号墳 344	1.埋葬	円形	38802373	67552300	7.928
10号墳 313	埋葬	楕円形	38793924	67541214	7.893	10号墳 329	埋葬	円形	38802655	67552611	8.076						

表5 借屋11号墳 出土遺物プロットデータ

遺構 No.	種類	形状	X	Y	H	遺構 No.	種類	形状	X	Y	H	遺構 No.	種類	形状	X	Y	H
11号墳 1	埋葬	円形	38814290	67543264	7.607	11号墳 12	埋葬	円形	38815544	67543380	7.617	11号墳 22	埋葬	円形	38816397	67543281	7.623
11号墳 2	埋葬	円形	38814883	67543306	7.719	11号墳 13	埋葬	楕円形	38814975	67543017	7.605	11号墳 23	埋葬	円形	38815749	67543116	7.686
11号墳 3	埋葬	円形	38814843	67543312	7.683	11号墳 14	埋葬	楕円形	38815011	67542990	7.580	11号墳 25	埋葬	円形	38815662	67543308	7.576
11号墳 4	埋葬	円形	38814836	67543317	7.655	11号墳 15	埋葬	円形	38815298	67542947	7.634	11号墳 26	埋葬	楕円形	38816770	67543379	7.705
11号墳 5	埋葬	円形	38815058	67543215	7.609	11号墳 16	埋葬	円形	38815487	67543299	7.712	11号墳 27	埋葬	楕円形	38817080	67543347	7.728
11号墳 6	埋葬	円形	38815074	67543086	7.734	11号墳 17	埋葬	円形	38815549	67542543	7.720	11号墳 28	埋葬	円形	38817296	67543387	7.680
11号墳 7	埋葬	円形	38814988	67543187	7.600	11号墳 18	埋葬	楕円形	38815629	67542733	7.643	11号墳 29	埋葬	円形	38815722	67543489	7.584
11号墳 8	埋葬	円形	38815008	67542962	7.714	11号墳 19	埋葬	円形	38815622	67542861	7.631	11号墳 30	埋葬	円形	38814860	67543263	7.520
11号墳 9	埋葬	円形	38815004	67543062	7.707	11号墳 20	埋葬	円形	38815368	67542786	7.707	11号墳 31	埋葬	円形	38814560	67544415	7.707
11号墳 10	埋葬	円形	38815213	67543276	7.720	11号墳 21	埋葬	円形	38814475	67543520	7.703	11号墳 32	埋葬	円形	38814217	67543807	7.728
11号墳 11	埋葬	円形	38815373	67543140	7.621	11号墳 22	埋葬	円形	38816060	67543287	7.610						

参考文献

- イ (財)石川県埋蔵文化財センター(2001)小松市ブッシュウジヤマ古墳群
- (財)石川県埋蔵文化財センター(2006)小松市矢田野遺跡群
- ウ 上野 興一(1965)考古篇,小松市史4.風土・民俗篇,小松市教育委員会,石川県
- カ 川西 宏幸(1978)円筒埴輪総論,考古学雑誌64-2,日本考古学会
- キ 北野 博司(1983)箱形粘土塚の再検討と横穴式木室との関連性について,北陸の考古学,石川考古学研究会会誌 第26号,石川考古学研究会,石川県
- ク 小松高校地歴クラブ(1951)江沼郡月津村矢田野借屋古墳調査報告,研究報告第三輯,石川県
- 小松高校地歴クラブ(1956)石川県小松市矢田野町所在借屋七古墳調査報告
- 小松高校地歴クラブ(1962)借屋八号墳発掘調査,石川県高等学校文化連盟郷土部会報2号
- 小松市教育委員会(1989)後山無常堂古墳・後山明神3号墳,石川県
- 小松市教育委員会(1990)二ツ梨東山古宮跡・矢田野向山古宮跡,石川県
- 小松市教育委員会(1992)戸野野エジリ古墳,石川県
- 小松市教育委員会(1993)天津古宮跡群Ⅲ,石川県
- 小松市教育委員会(1999)林タカヤマ宮跡,石川県
- 小松市教育委員会(2000)矢田野借屋古墳群,石川県
- 小松市教育委員会(2006)小松市内遺跡発掘調査報告書Ⅱ.矢田野借屋古墳群,石川県
- タ 田嶋 明人(1988)古代編年軸の設定,シンポジウム北陸古代土器研究の現状と課題(資料編),北陸古代土器研究会・石川考古学研究会,石川県
- 田辺 昭三(1981)須惠器大成,角川書店
- ニ 西 弘海(1986)土器様式の成立とその背景,真隔社
- ヘ 日置 謙(1925)石川県江沼郡誌,江沼郡役所,p679,石川県

第三章 鳥遺跡発掘調査

第1節 調査の概要

(1) 既往の調査

鳥遺跡は、従前より台地上の畑地に須恵器・土師器の散布が知られ、土取跡の崖面に竪穴住居跡の断面が露出するなど、埋蔵文化財包蔵地であることは周知されていた。

最初の発掘調査は、昭和58年度に小松市建設部土木課（当時）の市道改良工事に係り小松市教育委員会（以下、市教委）が実施した（第1次調査）。その後、平成5年には本場濁污水管線計画によって市道および町道に下水道が敷設されることとなり、小松市建設部下水道課（当時）と市教委の協議の結果、平成7年度に町道の施工範囲について発掘調査を実施した（第2次調査）。

これらの調査の結果、鳥遺跡は弥生時代～中世にわたる複合遺跡であり、遺物の出土量からは8世紀後半～9世紀前半が主体であり、時期は特定できないが製陶・製鉄と関わりを持つ性格の集落遺跡と考えられることが報告されている。

(2) 調査に至る経緯

小松市鳥町地内に所在する当該地において試掘調査によって埋蔵文化財を確認したのは平成17年度に遡る。国有地売却に係り北陸財務局から依頼を受けて11月22日に実施した。この後数年は買い手がつかない状態が続き、平成21年4月には国有財産調査業務として埋設物試掘調査をしたい旨、受託業者より問い合わせがあった。これについては、埋蔵文化財の包含状況を確認するため市教委の職員立ち会いを条件に実施を了承した。

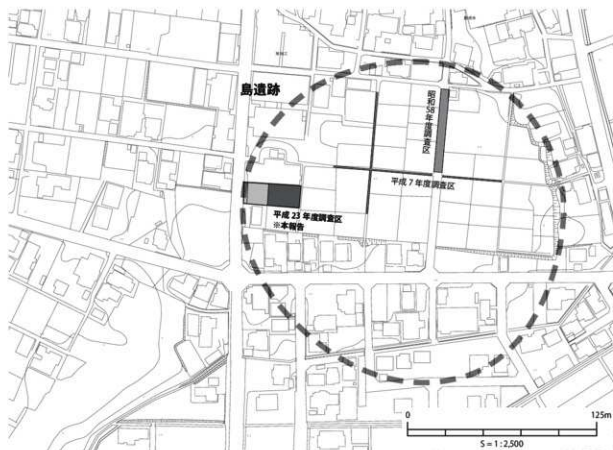


図26 鳥遺跡 調査地の位置

当該地が売却されたのはこの翌年の平成 22 年であり、落札者である北喜久雄氏より住宅建築に係る埋蔵文化財の取り扱いについて相談を受けた。当該地は全面道路より 1m 以上高いことや遺物包含層が表土直下に確認されていたこともあり、次年度に予算を確保して対応するものとして北氏の同意を得ることができた。

文化財保護法および発掘調査に係る諸手続きは市教委と北氏の間で直接行い、平成 23 年 8 月 16 日付で協定書を交換し、別件調査の傍ら発掘調査の準備に取りかかった。

(3) 調査の方法

隣地境界杭を原点 (A-1) として 5m 間隔のグリッドを設定した。

遺構の実測は、着手前に 4 級基準点を委託業務により設置し、これを与点として行った。グリッドは計算で得られた座標に基づいて図上にプロットしている。

平面図及びセクションポイントは光波測距儀で得られた座標をすべて野帳に記録し、必要に応じて図化した。原因の縮尺は、平面図は 50 分の 1、断面図は 20 分の 1 である。

(4) 調査の経過

発掘調査は 9 月 1 日より着手した。重機を手配しての作業は、表土除去のほかに車両の進入路の整地等も含まれたため、完了までに数日を要し、本格的な作業の開始は 9 月 6 日である。

作業はまず、前年の埋設物試掘調査で掘削されたトレンチ跡を掘り返すことから始め、続いて平成 17 年度の試掘坑跡を掘り返してから、包含層の掘削に入った。包含層は東側から掘削を開始したが、開始当初こそ遺物の出土があったが、西に進むにつれて遺物の出土量は減少し、遺構らしいプランも見いだせない状況となった。もともと当該調査地は鳥遺跡の縁辺に位置することもあり、ある意味では周縁部の状況が非常に分かりやすい形であられたともいえる。

作業は順調に進んだが、10 月 3 日より急速別件調査に着手することになり、平面図作成等はこれと併行して行い、10 月 8 日に埋め戻しまで完了した。

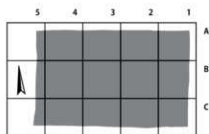


図 27 鳥遺跡 グリッド配点図

第 2 節 遺構と遺物

以下、遺構番号は既報告（市教委 1998）を踏襲した。

1 遺構 (図 28・29)

(1) 11 号溝 [SD01]

12 号溝と交差して南北に伸びる溝である。幅は、上端で約 1m、底面で約 50cm、下段の底面で約 30cm を測る。掘方から 2 度掘削されたと思われるが、セクションに切り合う層は確認されない。今調査で出土した遺物の主なものは、この溝に係ると考えられる。

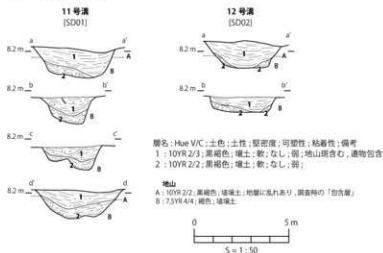


図 28 鳥遺跡 遺構断面図

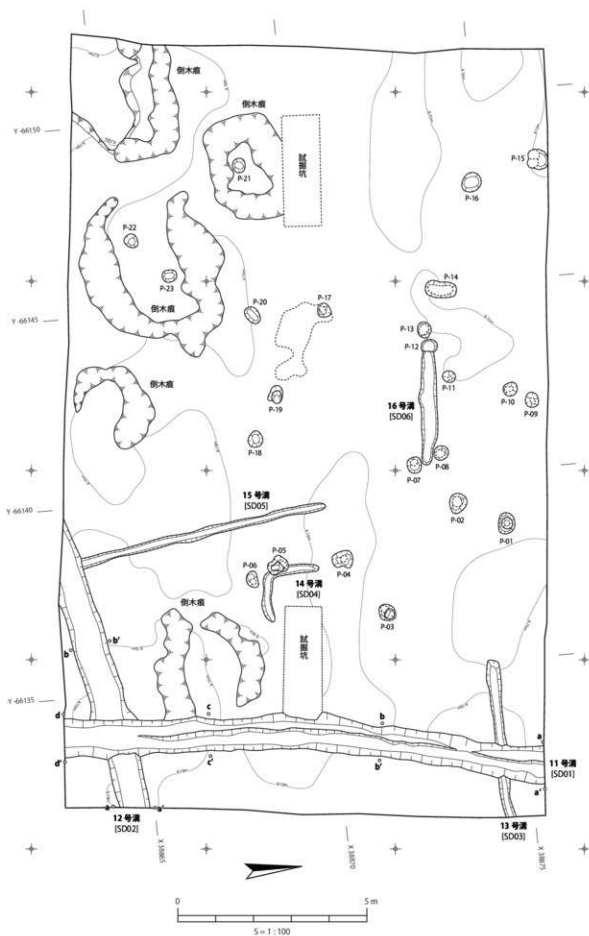


図 29 鳥遺跡 平面図

(2) 12号溝 [SD02]

11号溝と交差して東西に延びる溝である。幅は、上端で約1m、底面で約70cmを測る。11号溝との切り合い関係が覆土でも確認でき、11号溝が掘削された時点で完全に埋まっていたか、埋め戻されたかと推定される。

(3) 13号溝 [SD03]・14号溝 [SD04]・15号溝 [SD05]・16号溝 [SD06]

幅が上端で約30～40cmを測る浅い溝。直線または矩形に部分的に検出された溝で、小規模な土地を区画する溝の一部と思われる。現在の区画と一致しないことから、少なくとも近代より以前の時代の遺構の可能性はある。有意な出土遺物はない。

2 遺物 (図30)

(1) 土師器 (1～4)

1・2は甕の把手である。概ね古墳時代～飛鳥時代の資料に比定される。

3・4は高環の脚部と思われる。3はハの字に開く特徴的な形態で、古墳時代前期の資料に比定される。

(2) 須恵器 (5～16)

5は環G蓋である。内面に小さな返りがつく最後の型式で、古代Ⅱ₂期の資料に比定される。

6～8は環B蓋である。口縁端部が折れる型式で、古代Ⅱ₃期の資料に比定される。

9は環A身と思われる。

10～12は環B身である。10・11は高台が外反し、12はやや内傾気味になる。概ね古代Ⅲ～Ⅳ期の資料に比定される。

13・14は壺である。短い直口縁で、肩が張りカキメで調整される。既報告資料(市教委1998第32図370)に類似しており、古代Ⅳ₁期に比定されている。

15は壺の底部か。

(3) 埴器 (17)

17は大甕である。甕器系で、口縁部を欠くために特定はできないが加賀か越前と思われる。

(4) 鍛冶関連遺物 (18)

18は椀形鍛冶滓である。磁着せず、メタルも含まない。

第3節 小結

今調査では、集落の周縁部に関する所見を得ることができた。すなわち11号溝と12号溝であり、集落領域を画する遺構の可能性はある。ここでは集落領域の南限を画する12号溝、西限を画する11号溝という性格付けを想定してみる。

溝の切り合い関係でいえば、12号溝が古く、これが埋没または埋め戻された後に11号溝が掘られている。両者はある程度の排水機能も意図されていたと思われるので、集落の機能に関係する溝と考えよう。本報告で図30-14を古代Ⅳ₁期(8世紀後半)と位置づけたが、これは11号溝が埋没した時期の覆土(埋土?)から出土した。これがすなわち廃絶時期を表すものではないが、現段階で推定されている集落の「主要な」時期の前半に一旦途絶したか、何かしらの集落の改変があった可能性がある。同様に12号溝はこれより以前の集落に関わる溝と考えられる。

わずかな情報ではあるが、断片的な所見しか得られていない現段階においては、集落の変遷を考察する上での貴重な情報といえるだろう。

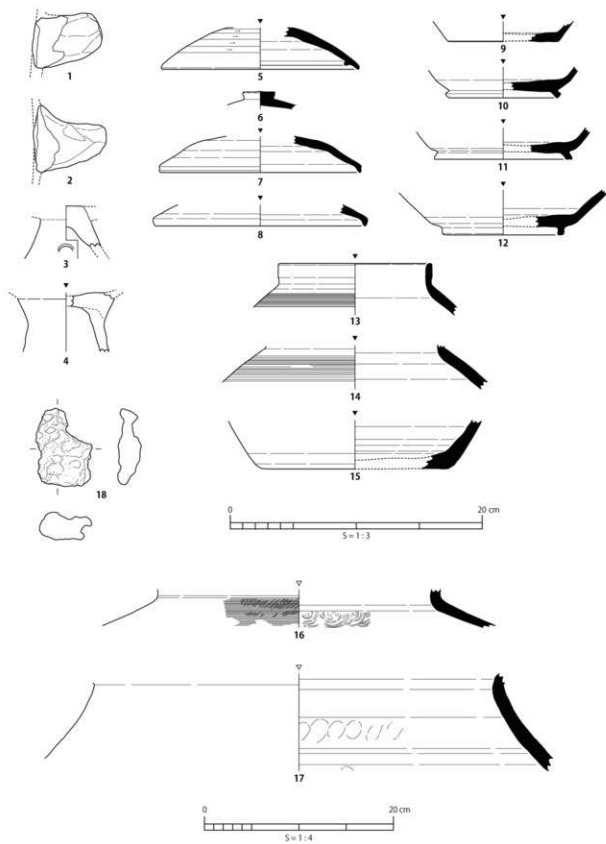


図30 島遺跡 出土遺物実測図

表6 鳥遺跡 出土遺物属性表

図	番号	実測	出土位置	分類	形状	寸法/残率	表面色調	胎土色調	備考
30	1	1	A-1 包含層	土師器	瓶(把手)		5YR 6/6	7.5YR 5/1 - 7.5YR 6/3	
	2	2	C-3 包含層	土師器	瓶(把手)		5YR 7/6 - 7.5YR 8/6	7.5YR 7/6	
	3	3	B-4 包含層	土師器	高環(脚部)	脚: 4cm/1.000	7.5YR 6/6 - 7.5YR 8/4	5YR 5/1	古墳前期
	4	4	B-3 包含層	土師器	高環(脚部)	脚: 7cm/0.250	7.5YR 7/6 - 2.5YR 6/6	7.5YR 6/3 - 2.5YR 7/4	
	5	6	B-3 包含層	須恵器	环蓋	口: 15.5cm/0.139	2.5Y 6/1 - 2.5Y 7/2	2.5Y 7/1	7c 後半
	6	8	A-3 包含層	須恵器	环蓋	器高: 0.6cm	5YR 3/3 - 5YR 4/3	10YR 6/1	8c 前半
	7	7	B-4 包含層	須恵器	环蓋	口: 16cm/0.139	2.5Y 4/1 - 5Y 4/1	7.5YR 5/4	8c 後半
	8	5	B-3 包含層	須恵器	环蓋	口: 16.5cm/0.111	2.5Y 5/1 - 2.5Y 6/2	2.5Y 8/3	8c 前半
	9	12	12号溝	須恵器	环身	底: 9cm/0.250	2.5Y 7/1 - 2.5Y 8/1	2.5Y 7/1	
	10	10	(表上除去)	須恵器	环身	底: 8.5cm/0.250, 台高: 0.5cm	10YR 7/3 - 10YR 7/4	10YR 6/4	8c 前半
	11	11	B-3 トレンチ	須恵器	环身	底: 11cm/0.278, 台高: 0.6cm	2.5Y 5/1 - 10YR 6/1	2.5Y 7/1	8c 前半
	12	9	A-3 包含層	須恵器	环身	底: 9.5cm/0.222, 台高: 0.6cm	2.5Y 6/1 - 10YR 7/2	2.5Y 7/1	9c 前半
	13	13	B-3 包含層	須恵器	壺	口: 12cm/0.111, 頸: 12cm/0.028	2.5Y 6/1 - 10YR 4/1	2.5Y 7/1	8c 後半
	14	14	11号溝	須恵器	壺	頸: 14cm/0.083	2.5Y 7/3 - 10YR 7/2	2.5Y 7/4	8c 後半
	15	15	11号溝	須恵器	壺	底: 15cm/0.083	10YR 5/1 - 2.5Y 7/1	10YR 6/2	
	16	20	C-2 包含層	須恵器	大甕	頸: 30cm/0.111	2.5Y 5/1 - 10YR 6/1	10YR 7/3 - 10YR 5/1	
	17	22	A-1 包含層	埴器	大甕		2.5Y 6/1 - 10YR 4/4	2.5Y 8/2	加賀か越前
	18	23	A-2 包含層	椀形鏡治洋		長: 4.1cm, 幅: 6.1cm, 厚: 2.1cm, 重: 77.6g	2.5Y 3/1		メタル: なし。 磁着: なし

参考文献

- コ 小松市教育委員会 (1991) 戸津古窯跡群 I, 石川県
 小松市教育委員会 (1993) 戸津古窯跡群 III, 石川県
 小松市教育委員会 (1993) ニツ梨豆岡向山古窯跡, 石川県
 小松市教育委員会 (1998) 鳥遺跡, 石川県
 小松市教育委員会 (2000) 矢田借屋古墳群, 石川県
 小松市教育委員会 (2005) 小松市内遺跡発掘調査報告書 I, ニツ梨豆岡向山古窯跡, 石川県
- タ 田嶋 明人 (1988) 古代編年軸の設定, シンポジウム北陸古代土器研究の現状と課題 (資料編), 北陸古代土器研究会・石川考古学研究会, 石川県

第四章 吉竹 C 遺跡発掘調査

第1節 調査の概要

(1) 調査に至る経緯

小松市吉竹町地内に所在する株式会社岩本鉄工所は、かねてより既存の工場の隣に工場新設する計画を構想していた。今調査に係る計画より以前の平成19年にも計画があり、埋蔵文化財の取り扱いについて協議がもたれ、小松市教育委員会（以下、市教委）が試掘調査した経緯があり、この時は敷地の一部を試掘した段階で埋蔵文化財が確認されたために、敷地全体を現状のまま保存し、工場新設の計画は一旦保留された状態だった。

今回は平成23年6月22日付けで改めて協議があったものであり、市教委は前回未調査だった敷地の全域を対象に7月28日に試掘調査を実施した結果、既存工場周囲の削平された区域以外のほぼ全域で埋蔵文化財が確認された。

当該地は段丘上の傾斜地であり、造成工事で水平に整地する必要がある上に埋蔵文化財が表土直下に確認されたなど、現状保存の困難な地形的条件もあった。最終的には敷地のほぼ全域を対象に発掘調査を実施することとなり、文化財保護法および発掘調査に係る諸手続きを経て平成23年9月26日付けで協定書を交換し、別件調査の傍ら発掘調査の準備に取りかかった。

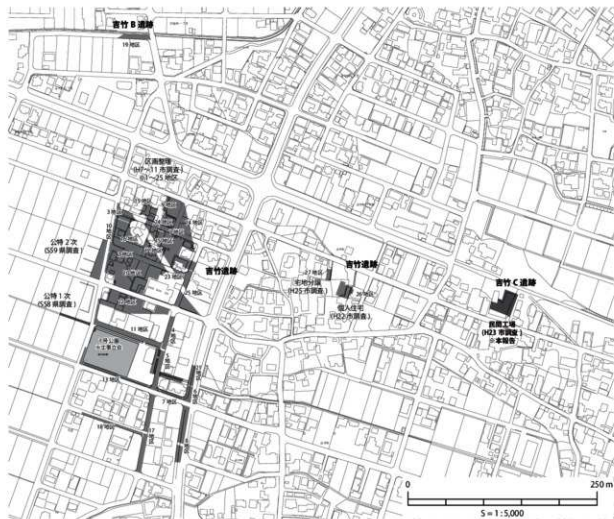


図 31 吉竹 C 遺跡 調査地の位置

(2) 調査の方法

都市計画道路予定地の官民境界杭の一つを原点 (A-5) として 5m 間隔のグリッドを設定した。

遺構の実測は、前年に別件調査で設置した 4 級基準点を利用し、これを与点として行った。グリッドは計算で得られた座標に基づいて図上にプロットしている。

平面図及びセクションポイントは光波測距儀で得られた座標をすべて野帳に記録し、必要に応じて図化した。原図の縮尺は、平面図は 50 分の 1、断面図は 20 分の 1 である。

(3) 調査の経過

発掘調査は 10 月 3 日より着手した。この時点では別件調査の撤収と埋め戻し、平面図作成等の作業がまだ残っていたが、依頼主側の手配した重機の日程を優先して表土除去にあたった。

本格的に作業を開始したのは 10 月 10 日である。試掘調査の時点で分かっていたことではあるが、表土直下に地山が露出する状況で、包含層を掘削するというよりは、表土の鋤き残しを削るような作業であった。全体的に削平を受けており、遺構のプランは明瞭に確認できた。今調査では十分な調査期間を確保できたとはいいがたい事情があったため、プランの確認は掘削作業と併行して行うこととし、風を潰すように端から順番に掘れるところをすべて掘るような状況だった。

10 月 20 日から翌日にかけて、井戸の調査を残して全景撮影。以降は、井戸の調査とピットの配列の検討を併行して続けた。ピットとして調査したのは 394 基あるが、このうち図 33 で着色したピットを検討の起点としたが、掘方はまちまちで、矩形に配列を見いだすこともできず、成果に結びつけることができなかった。

井戸の調査は 10 月 24 日までに完了し、一部未着手だった範囲の補足調査と平面図作成を行い、埋め戻しが不要であることを確認、11 月 2 日に現場を引き渡した。

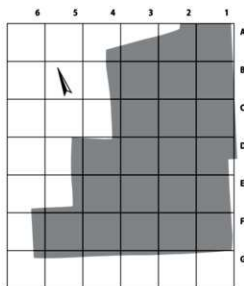


図 32 吉竹 C 遺跡 グリッド配点図

第 2 節 遺構と遺物

1 遺構 (図 33・34)

(1) 漏斗状の土坑

地山下層まで掘削された土坑であり、地下水が染み出し水がたまることから、概ね井戸と考えられる。遺物は主に上層部から出土する。

SK02 直径約 1.3 ～ 1.4m の略円形プランであり、上端から底面までの深さは約 1.7m を測る。井戸側等の埋設は痕跡も確認されない。

SK03 一辺約 1.8m の略方形のプランであり、上端から約 2m 掘削したが、底面に到達しなかった。掘方の上部約 40 ～ 90cm までの深さではプランが明瞭な方形を呈しており、井戸側が組まれていた可能性がある。

(2) 筒状の土坑

底面がある程度平らに均され、掘方が筒状を呈する土坑である。削平の程度にもよるが、遺物は主

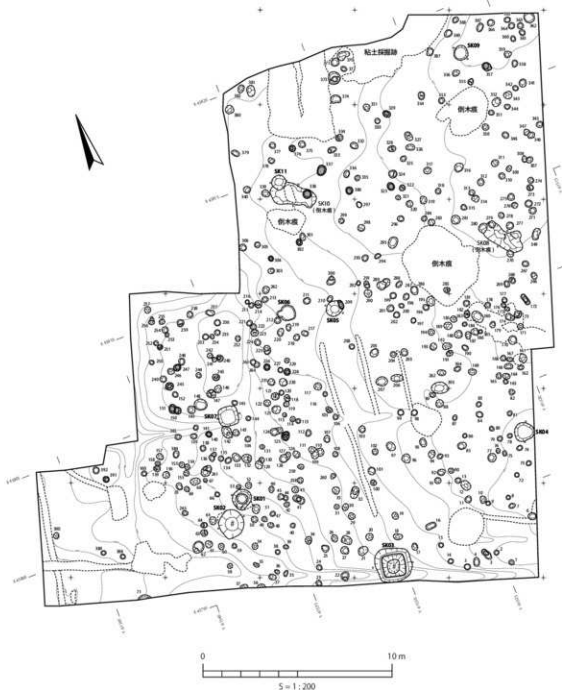


図33 吉竹C遺跡 平面図

に下層部または底面付近から出土する傾向があるようだ。

SK07 一辺約1mの略方形プランで、上端から底面までの深さは約80～90cmを測る。下層部から土師器塊の一括資料が出土した。また、北東に約5m離れたP212からも同様に土師器塊皿の一括資料が出土した。

SK04 直径約1mのいびつな略円形プランであり、上端から底面までの深さは約15cmを測る。

SK09 直径約75cmの略円形プランであり、上端から底面までの深さは約20cmを測る。底面には下層地山が露出しており、調査地は整地によって傾斜が緩くなった可能性を示唆している。

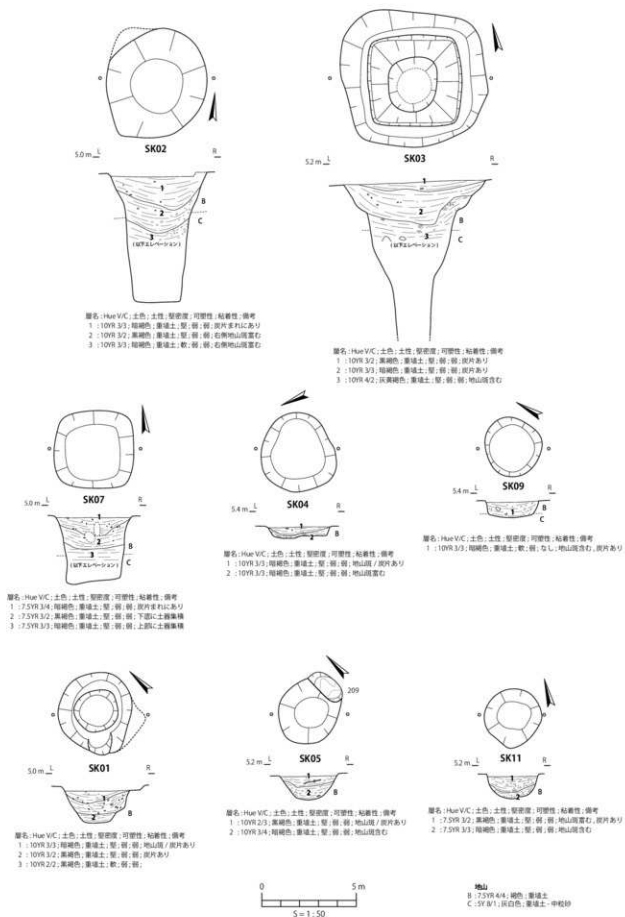


図 34 吉竹 C 遺跡 遺構実測図

(3) 鉢状の土坑

底面はほとんど平らに均されずに凹み、掘方が鉢状を呈する土坑である。削平の程度にもよるが、遺物は主に下層部または底面付近から出土する傾向があるようだ。

SK01 直径約 1m の略円形プランであり、上端から底面までの深さは約 50cm を測る。

SK05 直径約 75cm の略円形プランであり、上端から底面までの深さは約 35cm を測る。

SK11 直径約 70cm の略円形プランであり、上端から底面までの深さは約 35cm を測る。

2 遺物 (図 35～37)

(1) 古墳時代の遺物 (1～10)

1～4 は土師器であり、1・2 は甕形、3 は埴形、4 はミニチュアである。概ね漆町編年 14・15 群がそれ以降に比定される。5～9 は須恵器蓋環であり、5～7 は陶器 TK47 型式、8・9 は MT15～TK10 型式併行に比定される。10 は勾玉である。古墳時代前期の所産か。

(2) 古代の遺物 (11～18)

11 は土師器鍋と思われる。12～18 は須恵器であり、12・13 は環 A、14 は高環脚部、15 は瓶、16 は横瓶、17・18 は甕である。口縁部の特徴から概ね古代 V 期の範疇で 9 世紀前半と思われる。

(3) 平安時代後期の遺物 (19～41)

19～27 は P212 出土の土師器皿及び埴である。前年調査の吉竹遺跡 26 地区出土資料 (市教委 2013) が類似しており、中世 I-I (南加賀 8A) 期の範疇で 11 世紀後半と考えたい。

28～40 は SK07 出土の土師器埴である。千代オオキダ遺跡 196 号土坑出土資料 (市教委 2006) 等に比定して古代 VII (南加賀 7) 期の範疇で 10 世紀後半と考えたい。41 は、共伴した土錘である。

(4) 中世の遺物 (42～47)

すべて埴器である。42～44 は珠洲であり、42 は大甕、ほかは小甕である。45 はハケメ調整が特徴的な甕であり、初期の加賀とされる類例がある (石川県立埋文 1988)。46 は鉢であり、口縁部の形態は加賀の特徴に似るか。47 は加賀鉢である。

以上のうち、42～44・47 は、概ね 13 世紀代の所産と思われる。

第3節 小結

本報告は主な遺物が出土した遺構の分類のみにとどまったが、いくらか示唆的な成果があった。

一つは集落遺跡の分布についてであり、近隣の吉竹遺跡と関連を持つもう一つの集落の存在が垣間見えたことである。今調査では集落遺跡の傍証を得ただけだったにせよ、わずかかもしれないが新しい所見が得られたことを重視したい。

旧来の吉竹集落は、沖積層に囲まれた低平な段丘に立地し、独立丘が南北に 2 つと東側に丘陵地から北西に舌状に伸びる台地があり、いずれも地質的には高位段丘に分類される。この 2 つの独立丘と舌状台地の先端部に、都合 3 つの集落を形成していた。吉竹 C 遺跡はこれらのうち舌状台地先端部に位置する遺跡であり、今調査区はこの先端部にあたる。

もう一つは出土遺物についてであり、吉竹遺跡との比較において、土器だけ見れば内容はよく似ている。しかしながら、今調査では鍛冶関連遺物が確認されていない。勿論、今後出土しないとも限らないが、現段階では、吉竹 C 遺跡と吉竹遺跡では集落としての性格が異なる、という可能性も考慮しておきたい。

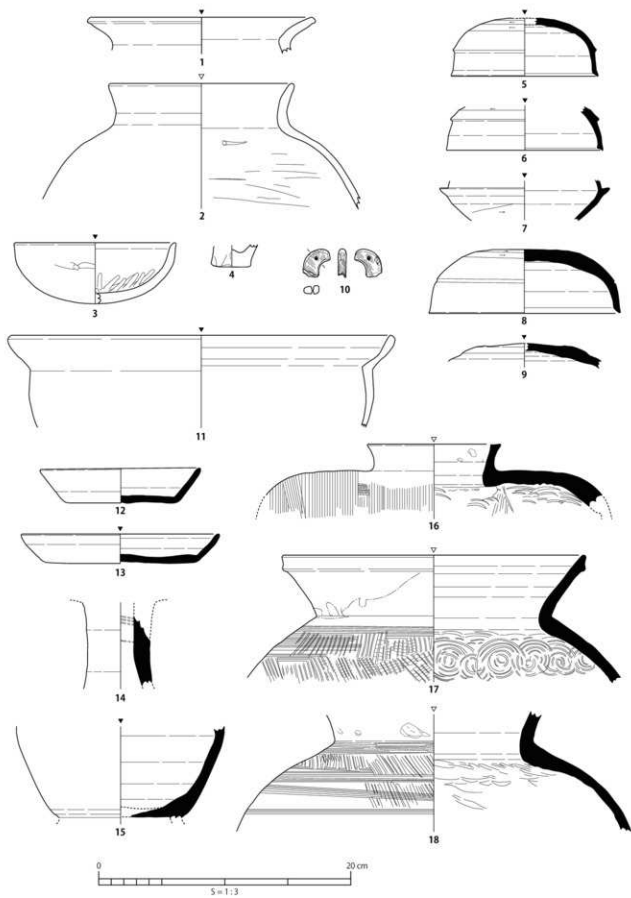


图 35 吉竹 C 遺跡 出土遺物実測図 1

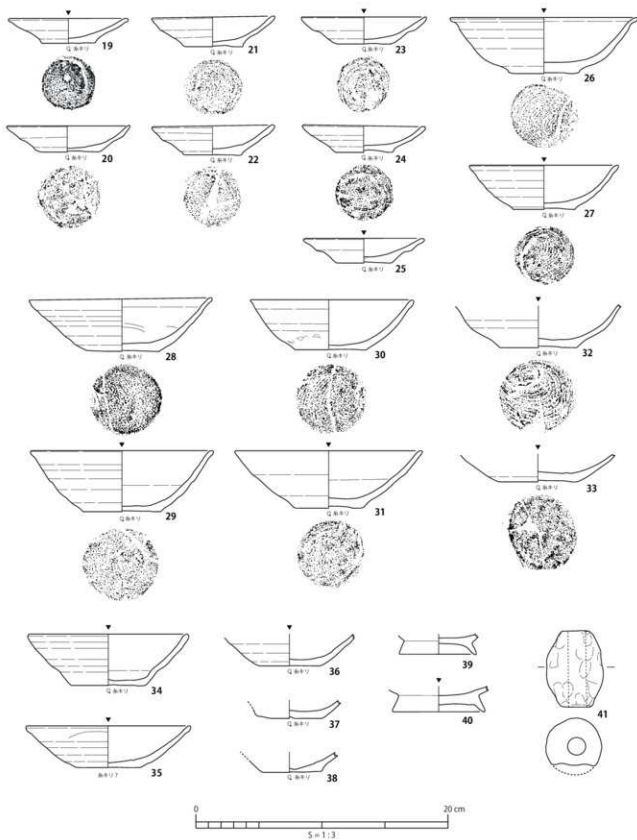


図 36 吉竹 C 遺跡 出土遺物実測図 2

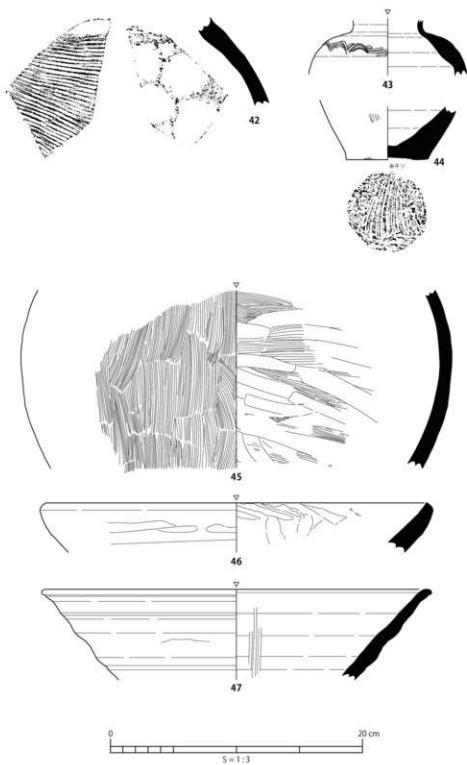


图 37 吉竹 C 遺跡 出土遺物実測図 3

表7 吉竹C遺跡 出土遺物属性表

図	番号	実測	出土位置	分類	器形	寸法/残率	表面色調	胎土色調	備考
	1	27	P282	土師器	甕	口:18cm/0.097, 頸:14cm/0.111	7.5YR 5/2 - 10YR 7/2	7.5YR 5/1	古墳後期
	2	26	SK05	土師器	甕	口:14.5cm/0.111, 頸:13.5cm/0.333	10YR 8/4 - 10YR 7/1	10YR 8/4 - 10YR 5/1	古墳後期
	3	25	SK05	土師器	埴	口:13cm/0.194, 高:4.8cm	5YR 4/3 - 5YR 5/6	5YR 6/6	古墳後期
	4	28	F-3 包含層	土師器	ミニチュア	底:3cm/0.667	5YR 7/6 - 7.5YR 8/3	5YR 7/6	古墳後期
	5	37	P44	須恵器	坏蓋	口:11.5cm/0.194, 高:4.6cm	2.5Y 7/1 - 10YR 5/1	10YR 4/1	TK47
	6	38	P282	須恵器	坏蓋	口:(12cm)	N 4/0 - N 3/0	10YR 4/1 - 10YR 3/2	TK47
	7	41	P258	須恵器	坏身	受:13.5cm/0.194	N 5/0 - N 4/0	N 5/0	TK47
	8	40	SK04	須恵器	坏蓋	口:15cm/0.528, 高:5.0cm	2.5Y 5/1 - 2.5Y 7/2	2.5Y 7/2	MT15-TK10
	9	39	P357	須恵器	坏蓋		2.5Y 7/1 - 2.5Y 6/2	2.5Y 7/2	MT15-TK10
35	10	47	P357	写玉		幅:2.1cm, 厚:0.6cm, 重:3.55g			肥後岩
	11	24	SK03	土師器	罎	口:30cm/0.139, 頸:27cm/0.250	10YR 8/3	10YR 5/1	
	12	30	SK02	須恵器	坏身	口:12.5cm/0.611, 底:8.5cm/0.806, 高:2.7cm	2.5Y 6/1	2.5Y 7/1	9c 前半
	13	29	SK02	須恵器	甕身	口:15.5cm/0.111, 底:12cm/0.528, 高:2.3cm	10YR 7/1	10YR 7/1	9c 前半
	14	33	F-5 包含層	須恵器	高坏(脚部)	脚:5.5cm/1.000	10YR 7/1 - 10YR 3/1	10YR 6/1	
	15	31	SK02	須恵器	甕	底:10cm/0.306	10YR 6/1	10YR 7/1	
	16	36	SK03	須恵器	横瓶	口:10.5cm/0.361, 頸:9.5cm/0.555	7.5YR 6/1 - 10YR 6/2	10YR 6/1	9c 前半
	17	35	SK02	須恵器	甕	口:24cm/0.194, 頸:18.5cm/0.306	2.5Y 7/1	2.5Y 7/2	9c 前半
	18	34	F-4 包含層	須恵器	甕	頸:15.5cm/0.194	2.5Y 7/1 - 2.5Y 5/1	2.5Y 7/3	
	36	19	3	P212	土師器	皿	口:9.5cm/0.389, 底:4cm/1.000, 高:2.0cm	7.5YR 8/4	7.5YR 8/4
20		4	P212	土師器	皿	口:10cm/0.861, 底:5cm/1.000, 高:2.1cm	7.5YR 8/4 - 5YR 7/6	10YR 8/4	11c 後半
21		5	P212	土師器	皿	口:10cm/0.639, 底:4.5cm/1.000, 高:2.4cm	7.5YR 8/8 - 7.5YR 8/3	7.5YR 8/8 - 7.5YR 8/3	11c 後半
22		6	P212	土師器	皿	口:10cm/0.750, 底:4.5cm/1.000, 高:2.4cm	7.5YR 8/8 - 7.5YR 8/4	7.5YR 8/4	11c 後半
23		7	P212	土師器	皿	口:10cm/0.167, 底:4.5cm/1.000, 高:2.1cm	5YR 7/6	5YR 7/6	11c 後半
24		8	P212	土師器	皿	口:10cm/0.611, 底:4.5cm/1.000, 高:2.1cm	7.5YR 8/5 - 7.5YR 8/4	7.5YR 8/2	11c 後半
25		9	P212	土師器	皿	口:10cm/0.361, 底:4.5cm/1.000, 高:2.0cm	7.5YR 8/4 - 7.5YR 8/6	7.5YR 8/4	11c 後半
26		1	P212	土師器	埴	口:15cm/0.194, 底:5.5cm/1.000, 高:4.4cm	7.5YR 8/6	10YR 8/4	11c 後半
27		2	P212	土師器	埴	口:12cm/0.722, 底:5cm/1.000, 高:3.5cm	10YR 8/3	10YR 8/2	11c 後半
28		10	SK07	土師器	埴	口:14.5cm/0.361, 底:6cm/1.000, 高:4.2cm	7.5YR 8/6	7.5YR 8/6	10c 後半
29		11	SK07	土師器	埴	口:14.5cm/0.472, 底:6cm/1.000, 高:4.9cm	10YR 8/4 - 5YR 7/6	5YR 7/6	10c 後半
30		13	SK07	土師器	埴	口:13.5cm/0.306, 底:5.5cm/1.000, 高:3.9cm	10YR 8/3 - 5YR 7/6	10YR 8/4	10c 後半
31		14	SK07	土師器	埴	口:15cm/0.139, 底:5.5cm/1.000, 高:4.6cm	10YR 8/3 - 5YR 7/6	10YR 8/3	10c 後半
32		21	SK07	土師器	埴	底:6cm/1.000	7.5YR 8/6 - 7.5YR 7/6	7.5YR 8/2	10c 後半
33		22	SK07	土師器	埴	底:6cm/0.694	10YR 8/3 - 10YR 5/1	10YR 8/4 - 10YR 6/2	10c 後半
34		12	SK07	土師器	埴	口:12.5cm/0.333, 底:6cm/0.583, 高:5.1cm	7.5YR 8/6 - 5YR 7/6	7.5YR 8/6 - 5YR 7/6	10c 後半
35		15	SK07	土師器	埴	口:13cm/0.306, 底:5cm/0.333, 高:3.3cm	10YR 8/4 - 5YR 7/6	10YR 8/4	10c 後半
36	16	SK07	土師器	埴	底:5cm/1.000	7.5YR 8/6 - 5YR 7/6	7.5YR 8/6	10c 後半	
37	17	SK07	土師器	埴	底:5cm/1.000	10YR 8/4	10YR 8/4	10c 後半	
38	18	SK07	土師器	埴	底:5cm/1.000	10YR 8/4	10YR 8/4	10c 後半	
39	19	SK07	土師器	埴	底:6cm/0.444, 台高:0.9cm	5YR 7/6	5YR 7/6	10c 後半	
40	20	SK07	土師器	埴	底:7cm/0.389, 台高:1.3cm	7.5YR 8/6 - 7.5YR 8/3	7.5YR 8/4	10c 後半	
41	23	SK07	土師	埴	長:6cm, 径:4.5cm, 口径:1.4cm	10YR 8/4			
37	42	43	SK03	妬器	大甕		N 5/0	N 6/0	珠洲, 13c
	43	45	SK03	妬器	小甕	頸:5.5cm/0.389	7.5Y 4/1 - N 3/0	N 6/0 - N 4/0	珠洲, 13c
	44	44	SK03	妬器	小甕	底:6.5cm/1.000	N 4/0 - N 7/0	N 6/0	珠洲, 13c
	45	42	SK03	妬器	甕	胴:34cm/0.278	2.5Y 7/1 - N 4/0	N 7/0	加賀?
	46	32	F-3 包含層	妬器	鉢	口:31cm/0.111	10YR 4/1 - 2.5Y 6/1	2.5Y 7/1	加賀?
	47	46	F-5 包含層	妬器	播鉢	口:30.5cm/0.042	7.5YR 4/2 - 7.5YR 4/3	7.5YR 6/1	加賀, 13c

表8 吉竹遺跡群 略年表

時 期	吉 竹 遺 跡	吉 竹 C 遺 跡	備 考
法仏期	2・7・8号竪穴建物、2・7・9・15・19・22・28号掘立柱建物、6号土坑、1・2号溝		盛期1
月影期	1・6・9号竪穴建物、8・13・18・25号掘立柱建物、17号土坑 12・(14)・23号掘立柱建物、16号土坑		
白江期	(14号掘立柱建物)、11・19号土坑		
4世紀	4・13・15号土坑	(P357)	吉竹B遺跡の取
5世紀	4・5号竪穴建物、1・10・11・17・20号掘立柱建物、 3・5・7・8・9・10・12・14号土坑、3号溝		盛期2
6世紀	1・2号土坑 18号土坑	SK04、SK05	
7世紀	(10号竪穴建物?)		
8世紀			
9世紀	(10号竪穴建物)	SK02[井 ^{IV}]	
10世紀		SK07	
11世紀		P212	
12世紀	33号掘立柱建物		
13世紀	(30・32号掘立柱建物)		
14世紀	(30)・31号掘立柱建物、4・6号溝、21号土坑	SK03[井 ^V]	鍛冶関連遺物
15世紀以降			文献上に「古武村」

参考文献

- イ 石川県立埋蔵文化財センター(1986) 漆町遺跡Ⅰ, 石川県小松市
石川県立埋蔵文化財センター(1987) 吉竹遺跡, 石川県小松市
石川県立埋蔵文化財センター(1988) 辰口西部遺跡群Ⅰ, 石川県能美市
(財)石川県埋蔵文化財センター(1999) 辰口町上徳山谷山西谷窯跡, 石川県能美市
- ロ 小松市教育委員会(1991) 戸津古窯跡群Ⅰ, 石川県
小松市教育委員会(2001) 吉竹遺跡, 石川県
小松市教育委員会(2004) 八里向山遺跡群, 石川県
小松市教育委員会(2006) 千代オオキダ遺跡, 石川県
小松市教育委員会(2013) 小松市内遺跡発掘調査報告書Ⅸ, 吉竹遺跡, 石川県
小松市教育委員会(2013) 吉竹遺跡Ⅱ, 石川県
- ス 珠洲市立珠洲焼資料館(1989) 珠洲の名陶, 石川県
- タ 田嶋 明人(1988) 古代編年軸の設定, シンポジウム北陸古代土器研究の現状と課題(資料編), 北陸古代土器研究会・石川県考古学研究会, 石川県
辰口町教育委員会(2005) 和気後山谷窯跡群, 石川県能美市
田辺 昭三(1981) 須恵器大成, 角川書店
- テ 出越 茂和(1997) 北陸古代後半における機皿食器(後), 北陸古代土器研究 第7号, 北陸古代土器研究会 編
- ミ 宮下 幸夫(1997) 在地窯「加賀窯」, 中・近世の北陸, 北陸中世土器研究会 編, 桂書房
- モ 望月 精司(2008) 南加賀地域の平安後期土器群に関する編年の考察, 額見町遺跡Ⅲ, 小松市教育委員会, 石川県



借屋9号墳 作業状況



借屋9号墳 遺物出土状況



借屋9号墳 完掘状況



借屋9号墳 完掘状況



借屋10号墳 作業状況



借屋10号墳 遺物出土状況



借屋10号墳 完掘状況



借屋10号墳 完掘状況



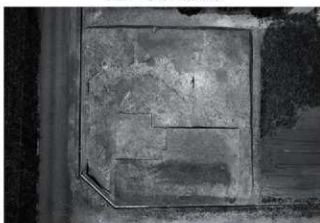
借屋 11 号墳 作業状況



借屋 11 号墳 完掘状況



借屋 11 号墳 完掘状況



借屋 9 号墳 垂直写真



借屋 10 号墳 垂直写真



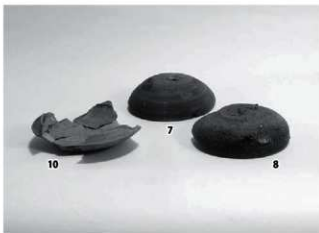
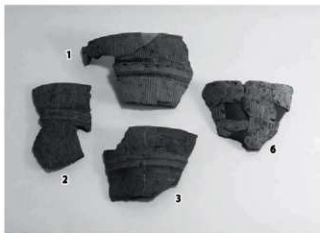
借屋 11 号墳 垂直写真



矢田借屋古墳群 調査区全景



矢田借屋古墳群 調査区全景





作業状況



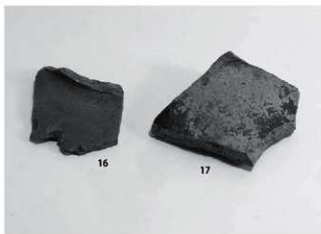
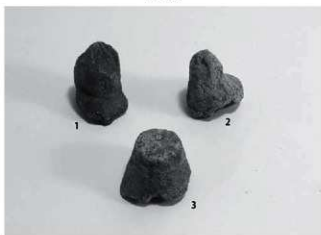
作業状況



12号溝



11号溝





作業状況



完掘状況



SK02 セクション



SK02



SK03 セクション



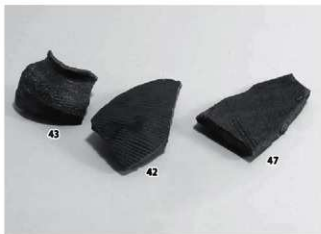
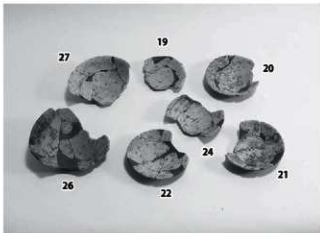
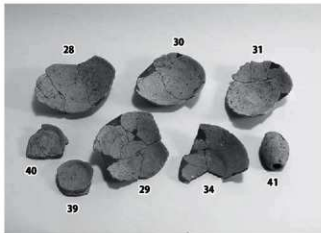
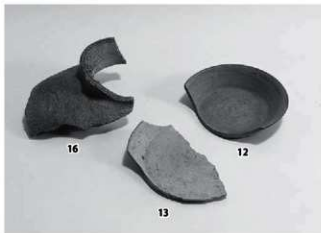
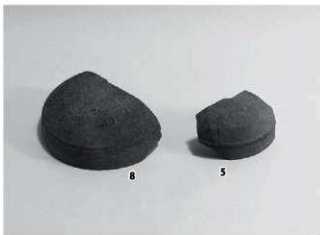
SK03



SK07 遺物出土状況



SK07 セクション



報告書抄録

ふりがな	こまつしないいせきはくつちょうさほうこくしょ 10
書名	小松市内遺跡発掘調査報告書 X
副書名	矢田借屋古墳群・鳥遺跡・吉竹 C 遺跡
巻次	
編・著者名	宮田 明
編集機関	石川県小松市教育委員会
所在地	〒 923-8650 石川県小松市小馬出町 91 番地 TEL (0761) 22-4111 (内)
発行年月日	西暦 2014 年 3 月 31 日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯 ° ' "	東経 ° ' "	調査期間	調査面積 (㎡)	調査原因
		市町村	遺跡番号					
イシノキヤ 矢田借屋 古墳群	石川県小松市 月津町	17203	03103	36° 20' 51"	136° 24' 51"	2010. 4.26 ~ 2010. 8. 4	1,140	個人農地造成
シマ 鳥	石川県小松市 島町	17203	03118	36° 20' 53"	136° 25' 47"	2011. 9. 1 ~ 2011.10. 8	310	個人住宅建設
エシノキヤ 吉竹 C	石川県小松市 吉竹町	17203		36° 23' 34"	136° 28' 51"	2011.10. 3 ~ 2011.11. 2	617	工場建設

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
矢田借屋 古墳群	古墳	古墳	円墳 3	埴輪、須恵器、土師器	
要約	借屋 9 ~ 11 号墳の未調査部分の調査。未確認だった 10 号墳の主体部は削平によって消滅していたことが確認された。				

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
鳥	集落	古墳 古代	溝 2	須恵器、土師器	
要約	調査された溝は、集落領域を画する溝と思われる。				

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
吉竹 C	集落	古墳 中世	土坑 7、井戸 2	須恵器、土師器、中世陶器（加賀、珠洲）	
要約	近隣の吉竹遺跡と関連を持つもう一つの集落遺跡と考えられる。				

小松市内遺跡発掘調査報告書 X

矢田借屋古墳群・島遺跡・吉竹 C 遺跡

平成 26 年 3 月 31 日 発行

編集・発行 石川県小松市教育委員会
石川県小松市小馬出町 91 TEL (0761) 22-4111

印刷 株式会社ゲンダ美術印刷
石川県小松市丸の内町 2-32 TEL (0761) 22-7031
